

# 本 四十二卷總目次

## 一月

詔書	堀 喬藏(一)
保育と國防	下村壽一(二)
戰時下幼稚園の任務	倉橋惣三(三)
我が國の保育所	森健藏(四)
講習上國民學校理數科の實際(その一)	堀七藏(九)
子供の病氣怖るべからず侮るべからず	竹内薰兵(五)
獨逸幼稚園の本質	エディット・ベルグル(二〇)
冬季戸外での遊びせ方	末田ます(七)
教養	各地幼稚園
講座萬葉に於て日本的感情を見る(一)	大島迫ト だより鹿兒島・吳
節分—誘導保育	利島勝造(四)
團體遊びの二つ三つ	清水光子(三)
各地幼稚園青森・熊本	牛島義友(三)
だより	志村貞子(三)
講習上兒童心理學(一)	古澤靜子(毛)
月刊「幼兒の母」に就て	牛島義友(毛)
幼兒の母	(五)
各地幼稚園	今島きよに(毛)

## 三月

戰時國民幼稚園(一)	倉橋惣三(一)
講習上國民學校理數科の實際(その二)	堀七藏(三)
新入園児を迎へる準備(回答)	石井庄司(三)
教養	講習上萬葉に於て日本的感情を見る(三)
月刊「幼兒の母」に就て	石井庄司(三)
幼兒の母	(三)
講習上兒童心理學(一)	倉橋惣三(一)
講習上國民學校理數科の實際(その三)	堀七藏(三)
新入園児を迎へる準備(回答)	石井庄司(三)
教養	講習上萬葉に於て日本的感情を見る(三)
月刊「幼兒の母」に就て	石井庄司(三)
幼兒の母	(三)

## 二月

## 四月の保育

生活訓練 ..... 倉橋 惣 三(モ)

自由遊戯 ..... 上遠文子(元)

遊 戲 ..... 古澤 静子(三)

観 察 ..... 清水 光子(夫)

談 話 ..... 志村 貞子(夫)

幼稚園の手技の導き方 ..... 及川 ふみ(四)

春の園藝 ..... 大岩 金(四)

## 四 月

戰時國民幼稚園(三) ..... 倉橋 惣 三(一)

誌上國民學校理數科の實際(その四) ..... 堀 七藏(三)

教養 福葉に於て日本的感情を見る(四) ..... 石井 庄司(九)

講座 教養 福葉に於て日本的感情を見る(四) ..... 石井 庄司(九)

幼稚園の音樂 ..... 小菅 和江(三)

五月の保育 ..... 生活訓練 ..... 倉橋 惣 三(六)

自由遊戯 ..... 上遠文子(一)

遊 戲 ..... 古澤 静子(一)

観 察 ..... 清水 光子(西)

談 話 ..... 志村 貞子(元)

手 技 ..... 及川 ふみ(夫)

誘導保育 ..... 菊池 ふじ の(元)

## 五月の園藝 ..... 大岩 金(三)

各地幼稚園小倉幼稚園・郡山幼稚園 ..... [大浦山キミ(孟)]

講習上兒童心理學(三) ..... 牛島義友(四)

月刊「幼兒の母」に就て ..... 幼兒の母 ..... (四)

月刊「幼兒の母」に就て ..... 幼兒の母 ..... (四)

## 五 月

戰時國民幼稚園(四) ..... 倉橋 惣 三(一)

講習上國民學校理數科の實際(その五) ..... 堀 七藏(二)

教育者としての保姆(二) ..... 倉橋 惣 三(一)

六月の保育 ..... 生活訓練 ..... 倉橋 惣 三(一)

自由遊戯 ..... 上遠文子(一)

遊 戲 ..... 古澤 静子(一)

観 察 ..... 清水 光子(西)

談 話 ..... 安村 ふさ(モ)

手 技 ..... 及川 ふみ(元)

誘導保育 ..... 菊池 ふじ の(三)

六月の園藝 ..... 大岩 金(孟)

各地幼稚園原女師幼稚園・岡山市立託児所 [折井彌留枝(モ)]

各地幼稚園原女師幼稚園・岡山市立託児所 [折井彌留枝(モ)]

講習兒童心理學(四) ..... 牛島義友(四五)  
月刊「幼兒の母」に就て ..... (四六)  
幼兒の母 ..... (四七)

## 六 月

戰時國民幼稚園(五) ..... 倉橋惣三(一)  
講習上國民學校理數科の實際(その六) ..... 堀七藏(二)  
教養萬葉に於て日本の感情を見る(六) ..... 石井庄司(八)  
七月の保育 .....  
生活訓練 ..... 倉橋惣三(二)  
自由遊戲 ..... 上遠文子(三)  
遊 戲 ..... 古澤靜子(五)  
觀 察 ..... 清水光子(六)  
談 話 ..... 安村ふさ(七)  
手 技 ..... 及川ふさ(三)  
誘導保育 ..... 菊池ふじの(四)  
この頃の頃 ..... 留岡よし(天)  
歩きませう ..... 古澤靜子(五)  
七月の園藝 ..... 大岩金(三)  
各地幼稚園 ..... より大阪御津幼稚園・宮城女師附屬幼稚園  
だ

〔富 村 豊 女子(言)〕

講習兒童心理學(五) ..... 牛島義友(三六)  
講習兒童心理學(五) ..... 牛島義友(三七)  
幼兒の母 ..... (三八)  
戰時國民幼稚園(六) ..... 倉橋惣三(一)  
幼稚園託兒所觀察記(一) ..... 多田鐵雄(二)  
講習上國民學校理數科の實際(その七) ..... 堀七藏(五)  
夏季幼稚園に於ての注意事項及積極的鍛錬[藤本久智江子(九)]  
教養萬葉に於て日本の感情を見る(七) ..... 石井庄司(八)  
講習上國民學校理數科の實際(その八) ..... 堀七藏(五)  
夏冬幼稚園に於ての注意事項及積極的鍛錬[藤本久智江子(九)]  
八、九月の保育 .....  
生活訓練 ..... 倉橋惣三(三〇)  
自由遊戲 ..... 上遠文子(三)  
遊 戲 ..... 古澤靜子(四)  
觀 察 ..... 清水光子(五)  
談 話 ..... 志村貞子(七)  
手 技 ..... 及川ふみ(三)  
誘導保育 ..... 菊池ふじの(三)  
リズム遊び ..... みどり會音樂部(四)  
講習兒童心理學(六) ..... 牛島義友(三八)  
月刊「幼兒の母」に就て ..... (三九)  
幼兒の母 ..... (四〇)

## 八・九月

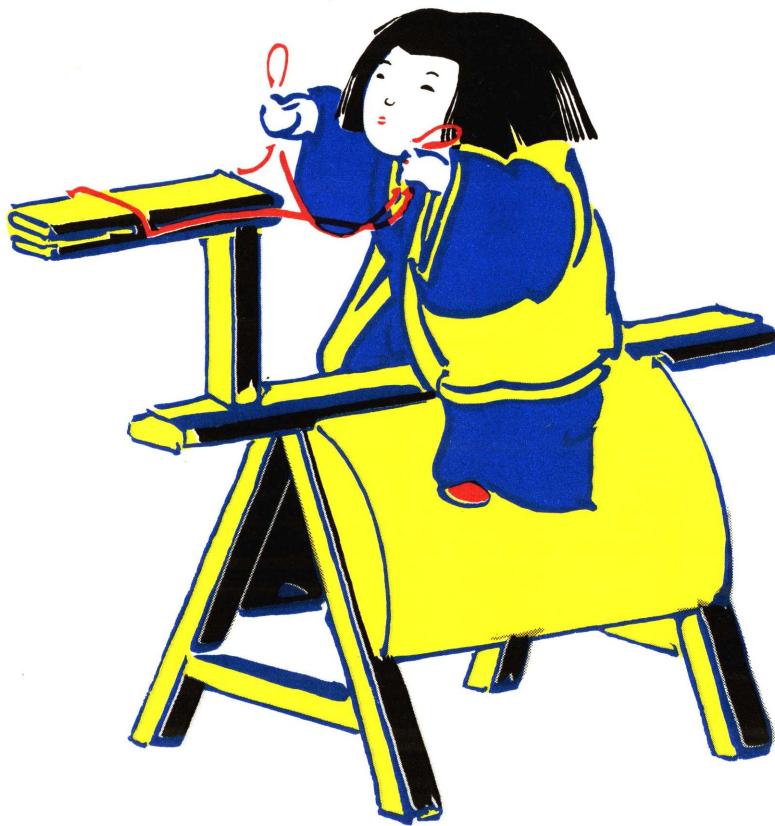
戰時國民幼稚園(七)	倉橋惣三(一)
國防國家の幼兒教育	倉澤剛(三)
幼兒の畫因	櫻林仁(九)
教養萬葉に於て日本の感情を見る(八)	石井庄司(一五)
講座	倉橋惣三(一九)
生活訓練	倉橋惣三(一九)
自由遊戲	上遠文子(10)
遊 戲	古澤靜子(一三)
觀 察	清水光子(一五)
談 話	志村貞子(一七)
手 技	及川ふみ(二)
誘導保育	菊池ふじの(三〇)
繪本唱歌に於ける拍子とリズムに就いて	みさり會音樂研究部(三)
各地幼稚園大連市譚家屯幼稚園臺北市私立錦幼稚園	各地幼稚園
だより	小山田下郎(三)
講習上兒童心理學(七)	竹下ラル(三)
この夏の本會主催講習會	(四七)
幼兒の母	(五)
幼兒教育に於ける養護と鍛鍊(一)	加藤恂二郎(四)
幼兒の母	(五)
幼兒教育に於ける養護と鍛鍊(一)	加藤恂二郎(四)
幼兒の母	(五)

## 十 月

幼兒の積極的保健(一)	齊藤文雄(六)
現時局下に於ける幼兒教育(一)	倉橋惣三(七)
戰時國民幼稚園(八)	倉橋惣三(一)
幼兒教育に於ける養護と鍛鍊(1)	加藤恂二郎(二)
幼兒の積極的保健(二)	齊藤文雄(八)
現時局下に於ける幼兒保育(二)	倉橋惣三(二)
講座	倉橋惣三(二)
十一月の保育	石井庄司(九)
生活訓練	倉橋惣三(二三)
自由遊戲	上遠文子(四)
遊 戲	古澤靜子(二)
觀 察	清水光子(一元)
談 話	志村貞子(三)
手 技	及川ふみ(三)
誘導保育	菊池ふじの(三)
各地幼稚園	各地幼稚園
だより	小山田下郎(三)
講習上兒童心理學(八)	竹下ラル(三)
この夏の本會主催講習會	(四八)
幼兒の母	(四九)
幼兒教育に於ける養護と鍛鍊(一)	加藤恂二郎(四)
幼兒の母	(四九)
幼兒教育に於ける養護と鍛鍊(一)	加藤恂二郎(四)
幼兒の母	(四九)

現時局下に於ける幼兒保育(二) .....	倉橋惣三(二)	遊戯 .....	古澤靜子(五)
教養萬葉に於て日本的感情を見る(十) .....	石井庄司(九)	観察 .....	清水光子(七)
講座		講話 .....	安村ふさ(八)
十二月の保育		手技 .....	及川み(九)
生活訓練 .....	倉橋惣三(三)	談話 .....	菊池ふじの(一)
自由遊戯 .....	上遠文子(四)	保育界の近状を見て .....	多田鐵雄(四)
遊戯 .....	古澤靜子(一)	講養萬葉に於て日本的感情を見る(十一) .....	石井庄司(一)
観察 .....	清水光子(二)	戰時下に於ける幼稚園經營の實際 .....	田邊周子(三)
談話 .....	志村貞子(二)	幼稚園の職域奉公 .....	今きよ(二)
手技 .....	及川ふみ(三)	幼稚園の職域奉公 .....	金原伸子(元)
誘導保育 .....	菊池ふじの(三)	各地幼稚園 .....	藤田そよ(三)
幼兒の體力競技 .....	古澤靜子(四)	各地幼稚園 .....	各地より名古屋市立第一幼稚園・京城愛國幼稚園
感じたまゝを .....	一保姆(三)	各地幼稚園 .....	各地より名古屋市立第一幼稚園・京城愛國幼稚園
各地幼稚園 .....	各地より名古屋市立第一幼稚園・京城愛國幼稚園	各地幼稚園 .....	各地より名古屋市立第一幼稚園・京城愛國幼稚園
だより東京感應幼稚園・今治市船安幼稚園			
十一月			
戰時國民幼稚園(十) .....	倉橋惣三(一)		
一月の保育			
生活訓練 .....	倉橋惣三(二)		
自由遊戯	上遠文子(三)		
十二月			
戰時國民幼稚園(十) .....	倉橋惣三(一)		
一月の保育			
生活訓練 .....	倉橋惣三(二)		
自由遊戯	上遠文子(三)		
十一月			
講習上児童心理學(九) .....	青柳義智代(三)		
講習上児童心理學(九) .....	牛島義友(四)		
幼兒の母 .....	(四五)		
十一月			
講習上児童心理學(十) .....	田坂雪(三)		
講習上児童心理學(十) .....	牛島義友(三)		
雑錄 .....	(四三)		
幼兒の母 .....	(四五)		

# 幼兒之教育



號一第一月一卷二十四第

東京女子高師範學校內

日本幼稚園協會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編 (五版)

# 增補訂系統的保育案の實際

定價 金壹圓參拾錢 送料 金 六 錢

初版以來廣く参考の資料させられた本書は、時局下幼兒保育の再認識、特に國民學校の新制に對する用意の必要から到底舊版のまゝに止まるこを許されなくなりました。全體に亘る改訂と増補を以て茲に此の新版を供する次第であります。

日本幼稚園協會編

## 幼稚園談話集(四版)

(再版)

菊判一三〇頁 定價金壹圓  
地方料三五〇頁 定價金壹圓五拾錢  
樺太・朝鮮・滿洲・臺灣 金 拾 五 錢

## 幼稚園の實際

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

## 幼兒の教育(月刊)

菊判一三〇頁 定價金壹圓  
送料東京市内金六錢 其他金九錢  
一ヶ月 金參拾五錢 送料金一錢  
一年 金四圓貳拾錢 送料共

大東亞戰爭  
必勝完遂

皇紀二千六百二年元旦

日本幼稚園協會

# 生徒募集

本科生四十名

創立以來廿八年。

大正五年東京市麹町區に創立。

顧書受付三月二十日迄規則書は參錢切手  
封入の上申込まれよ。  
昭和二年武藏野の中なる現在地に新築、  
附近に森あり、野あり、川ありて四時自  
然の恩恵を受け、本校の特色とする自然  
觀察、博物採集、圖畫寫生、自然物應用  
の手工等材料豊富なり。

## 玉成保姆養成所

所長

長

ソファアヤ・アラベラ・アルウ井ン

東京市杉並區西高井戸一丁目一三三  
省線 西荻窪下車直南約五丁

# 生徒募集集

一定員七拾名  
一出願期限三月末日迄

規則並ニ入學案内ハ參錢切手封入申込マレタシ

東京市品川區大井原町五二〇八(省線大井町驛ヨリ城南バ  
ニテ原停留場下車二分)

東京昭和保姆養成所

所長 土川五郎  
顧問 長橋惣三  
東京女子高等師範學校教授 兼講師

# 保母生徒募集

一、募集人員 六拾名

二、出願期日 二月一日 ヨリ三月中

三、入學案内 入用の方は參錢切手同封申込ありたし

昭和十七年一月

## 東京日白保母學校

所在 東京市淀橋區下落合三丁目一三八八

電話 落合長崎二五五九番

校長 和田 實

△定 員 六 十 名

△保 媽 無 試 験 檢 定

△締 切 三月二十日

△寄 宿 舍 完 備

佛教保育協会

中野保母養成所

東京市中野區宮前町 電話中野五八七〇番

△附設の感應幼稚園にては皇紀二千六百年記念事業として全園児貳百餘名に對し栄養給食を實施いたしましたので保母科生徒に正科目として給食並割烹の實習を課し保母としてまた母の教養として萬全を期して

ゐます

△交通は省線新宿驛より五分です

# 生徒募集

一、募集人員

一百名

二、出願期限

三月末日迄

無試験検定ノ特典アリ

規則書入用ノ方ハ參錢切手封入申込マレタシ

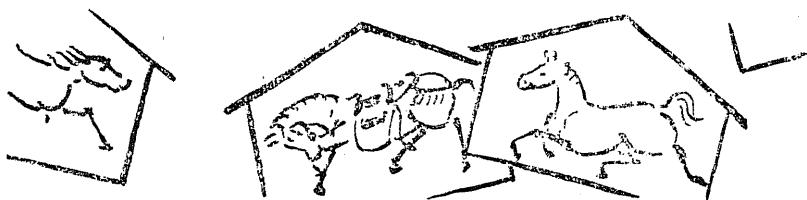
東京市杉並區高圓寺三ノ二九八

聖心學園内(電話中野二四八四)

省線高圓寺驛 青バス 西武電車高圓寺 三丁目下車

東京保姆專修學校

# 大東亞戰爭必勝完遂



## 第第一號 幼兒の教育 第二十四卷

——(次) 目——

詔書 ..... (一)  
保育と國防 ..... 下村壽一(二)

戦時下幼稚園の任務 ..... 倉橋惣三(三)  
我が國の保育所 ..... 森健藏(四)

講習上國民學校理數科の實際(その一) ..... 堀七藏(九)  
講習座萬葉に於て日本的感情を見る(一) ..... エティット・ベルグル(一〇)

子供の病氣怖るべからず悔るべからず ..... 竹内薰兵(五)

獨逸幼稚園の本質 ..... エティット・ベルグル(一〇)

冬季戸外での遊ばせ方 ..... 末田ます(十七)

教養講座萬葉に於て日本的感情を見る(一) ..... 石井庄司(三)

節分——誘導保育 ..... 志村貞子(三)

團體遊びの二つ三つ ..... 古澤靜子(毛)

各地幼稚園青森・熊本 ..... 今きよ子(元)

講習上兒童心理學(一) ..... 牛島義友(四)

月刊「幼兒の母」に就て ..... (毛)(至)

幼兒の母 ..... (至)

戰時家庭(題言)——幼稚園から——教育講話(倉橋惣三)——子供向

きお菜(佐々木理喜子)——一月の衛生(齊藤文雄)

新發賣！

# ○森永クレヨン

定價 一箱

(文部省認定標準色)  
金二十九錢 (十一色保育用)

ものと原料を異にし、非常に多量に製造し得る可能性がある由である。この點誠に頗る母しい、発色もよく色相も標準色に合致してゐる。ヨンに見る、いやな光澤も少いから色の品がよい敢て推賞する所以である。

前東京市(圖畫手工擔任)視學  
東京市日野工業青年學校長 宮本幸惠

接合出来る經濟的なクレヨン

圖畫用具の中でも、一番問題になつてゐるのは、恐らくクレヨンである。此はクレヨンが其又重要であるのに、幾多の缺點を持つてゐるからである。(一)よく折る。(二)蠟分が多くて紙に載らない。(三)線畫が出来ない。殊に昨今資材の不足に伴つて、益々其質が低下し、クレヨン改良の聲は、今や児童教育上切實緊急の問題である。然るに「森永クレヨン」は從來の三大缺點を遺憾なく改良したことは勿論色澤鮮明で實に標準色と一致し、混色が自由で又ゴムで消すことも出来れば萬一折れても緩めれば容易に接合することも出来甚だ經濟的である。即ち圖畫教授の上に又使用管理の上に極めて適當である。

注 文 方 法

一、御注文はハガキにて数量明記の上東京保育研究所奉仕部へ御申込み下さい。御注文書到着と同時にすぐ御送り致します。  
一、代金は引換または納品後一週間以内に御拂込み(振替口座東京一六七〇四二東京保育研究所)下さい。  
一、見本御入用の方は金三十二錢(郵稅共)振替口座へ御拂込みの上、御請求用として直ちに一函御送り致します。  
一、土補給用として各色(赤、青、黃、綠、空、紫、茶、風、櫻、黃、黒)御希望の向きはハガキにて御聞合せ下さい。

推薦の辭

東京美術學校教授 松田義之

一、本クレヨンは從來の蠟質クレヨンの缺點を改良して、國策的見地から創製された最優秀品で他製品とはその質を異にした唯一のものであること  
二、文部省撰定の標準色に正しく合せ、鑄物質のために變色褪色の心配のないこと  
三、バステルのやうに指に着かず粉が飛ばず紙面を汚さない上に、消ゴムの使用が自由なこと  
四、定着力が強く画面が惡光りせないと共に、バステル畫風、油繪風に指導が容易なこと  
五、重色混色が自分で發色が良いこと  
六、火に温めて鉛筆のやうに尖らすことも出来、また細線が自由なため、圖案、デッサンにも適する  
七、蠟製品に比し消費量(減り方)の少ないこと、また折口を温めて接合が出来る經濟的なこと  
八、鉛分を含まないから絶對的に無害衛生品であること  
九、襖や疊等に附着した場合消ゴムで落ちること  
一〇、暑熱のため曲らない、ねばらない、その上に古くなるほど益々特徴を發揮する事

今同森永配給會社から發賣することとなりた「森永クレヨン」は全く新らしい創製で、而もいろの點に優秀であるやうに思ふ、即ち先づ商工省が優良なる製品たることを證明してゐる、而も從來の

東京保育研究所奉仕部  
電話九段一五一一四五五番  
振替口座東京一六七〇四二番

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ナ踐メル大日本帝國ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有畧ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕

カ眾庶ハ各々其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑ニ東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ不顯ナル皇祖孝丕承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳

拳措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ

今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト鬪端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國

ノ真意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攬亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ

幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ

恃ミテ兄弟尙未タ牆ニ相鬪クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東

洋制霸ノ非望ヲ逞ウセムトス剩ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ増強シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ

朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ回復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交譲ノ精神ナク徒ニ時局ノ

解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益々經濟上軍事上ノ脅威ヲ増大シ以テ我ヲ屈從セシメムトスノ如クニシテ推

移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衛ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇帝ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有眾ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日

各大臣副署

# 保育と國防

會長 下村壽一

高度國防國家の確立は我國內外の情勢に鑑み現下に於ける隨一の國策である。凡そ一國の教育は其の國策に順應して、之を強化推進する精神的原動力であるべきことは申すまでもない。この故に、新制の國民學校に於ては、國防教材がすべての教科目に於て十分留意されるべきことゝなり、今後改正さるべき師範教育、中等教育等に於ても同様の措置の講ぜられるることは疑のないところである。幼兒保育は教育の一 分野として、此の問題を如何に取扱ふべきか。現在行はれてる遊戯、唱歌、談話、手技等にも若干の更正を要するであらうが、就中、國民學校以上に於て行はれる國防教育の素地としての幼兒の性格を如何にして涵養すべきか、主として考案さるべき課題であると思ふ。いづれ是等の事柄に就ては、中央から指示されるこゝもあらうが、それ等の指示を待つまでもなく、教育國策の一翼擔當者として、時宜に適する對策を立てられるやう、保育關係の方々の眞摯な検討を御願ひする意味で、茲に一言する次第である。(昭和十六、十一、五)

# 戦時下、幼稚園の任務

倉 橋 物 三

今や此の大時局、我等は心身一ぱいの緊張に生きてゐる。國を思ふて一寸の餘裕もないものである。しかも、幼稚園にあつては、幼い子らと嬉戯笑談に餘念なく、その任をつくしてゐる。人は見て以て或は怪しむであらう。自分も亦斯くてよいのか考へさせられたりする。しかし、愛すべき純真の子らは、飛びついて來るのである。遊びを挑んで來るのである。殊にその溢るゝ如き笑顔を近く寄せて來るのである。輝く如き明朗さを以て誘ひに來るのである。今彼等が、何を我等に求めてゐるか。この子の爲に今一番興へなければならぬものは何か。我等は敢然として、その任務に生き、子きちらの間に、子きちらの如く活動してゐるのである。

戰時下、小さき子らを顧るの暇ないじじふゝこゝも、確に免れ難いほどの、時の嚴しさである。しかし、この時にも、否、この時にこそ、小さき子らを、滿心のなごやかさを以て守るもののが誰れか無ければならぬ。その小さき子なるが故に、而して、實は小さきものにあらざるが故に。

國榮えんごして、子きちらの貴さを思ふ。國盛ならんごして、子きちらの大切さを思ふ。この時にこそ、幼きものを重視しなければならぬ時である。この時こそ、幼きものを愛育せねばならぬ時である。我等に今託せられてゐるのは、この重責である。託せられずとも、自ら進んでその任に任せずには居られないのが、この必須の任務である。

難いかな、笑つて此の重責に當る。難いかな、胸の張りを抑へて此の樂園の人となる。ゆめ／＼これは有閑事でない。さら／＼これは行樂の場でない。緊急必須の事である。専念國に奉仕するの努力である。

戰場に赴かるゝ父達、乞ふ安んぜられよ。卿の愛兒はわれらが守つてゐる。銃後公事に劇忙なる母達、乞ふ安んぜられよ。お子さんの幸福はわれらが代つて守つてゐる。

それにしても全國の保姆諸君。今やあなたの方の保育報國の任は平時の比でない。あなた方は、その園の保姆として、又、國家の保姆として團結一致して、その任務の國家的意義に自重しなければならぬ。

# 我が國の保育所

四

厚生省人口局母子課 森 健 藏

保育所といふ言葉が用ひられたのは極めて近年のことである。而も保育所といふ名稱を使ひ始めたのは實は昭和十四年頃斯く申し私を始め二、三の當時の厚生省兒童課の人々であつた。當時私共が集つて託児所について色々と相談をしてゐた時に、託児所或は托児所といふ言葉が如何にも荷物でも預るような感じがするので、單に預るだけではなく進んで乳幼兒の保育に當るといふ使命を強調して私は保育園説を主張したのであるが、保育園はセンチメンタルであるといふ反対意見も出て結局保育所と決定したのである。だが、これは幼稚園のように法令で定めたわけではなく、その後色々な刊行物や講演などでこの名稱を使用してゐる間に何時の間にやら、保育所といふようになつてしまつたのである。隨つて、保育所は以前の託児所或は托児所である。

保育所には主として農繁期などの繁忙期間だけに限つて開設される季節保育所(農繁期託児所とも呼んでゐる)と常

時開設されてゐる常設保育所がある。季節保育所の創始は明治二十三年鳥取縣氣高郡美穂村の一農夫が農繁期に於ける農村の幼兒の状態を見るに見兼ねて庵住の尼僧に委頼して幼兒の預り所を始めたのがそれであると謂はれてゐる。また常設保育所は同じく明治二十三年に新潟市に開設されたものを嚆矢とする謂はれてゐる。東京では明治四十年頃に當時著名な細民街であつた四谷駄ヶ橋に開設された一葉保育園(今でも在る)が最古のものであらう。季節保育所は猫の手も借りたいような農村の繁忙期に農家の乳幼兒は手足縛りなり且つは之を放置して置くと墜死(溜池や井戸や小川等に墜死する)、火傷(弄火などから火傷する)、咬傷(犬、猫などに咬まれる)、轢死(トラック、荷馬車等に轢かれる)などの悲惨事さへ惹起する所から農家が安心して働けるように之を預つて保育することを目的とし、常設保育所は、之れ亦主として都市の勤労家庭の乳幼兒を受託保育して是等の家庭の勤労を容易ならしめ延いてはその經

濟的生活苦を緩和しようとする目的として開設されたのである。従つて、季節常設を問はず、保育所はその開設の目的を社會事業的動機に立つて家庭の勤労を容易ならしめ延いては家計の援助となる所に主眼が置かれたことは事實である。それは季節保育所が民度の低い農村に、また常設保育所の分布が主として都市の細民街や小商工業地帶に多いのを見ても判る。

このようにして保育所は大正、昭和と社會問題の盛んに論議された頃に有力な社會施設として急激的に發展したのであつた。殊に常設保育所は關東大震火災後の都市社會施設勃興の氣運に乗じて劃期的に進展を遂げたのであつた。然し、その後、昭和十二年支那事變の勃發を見るに及んで、都市と農村とを問はず勞働力の著しい不足を告げられるに至つて、保育所は都市及び農村に於ける勞力調整の一方途として重要な時局的意義を持つに至つたのである。先づ、この傾向が著しく現れたのは農村の季節保育所である。即ち、之を統計について見るならば、昭和十三年には十六、五三八施設、同十四年には二〇、七八一、同十五年には一二、七五八施設と正に飛躍的増加を示してゐる。この驚異的増加は、畏くも昭和十六年一月、同十月の再度に亘る、皇后陛下の御下賜金を始めとし奉り之に恐懼感激せる當局其の他の熱心なる普及努力に俟つ所少くないのであるが、

一方、時局の要望は益々此の種の施設を必要としてゐることを物語つてゐる。また、常設保育所も昭和十三年に於ては一、四九五施設、別に工場鑛山に附設されたもの一九九施設であつて、今日に於ては幼稚園數二、〇六〇（昭和十三年）に匹敵する増加を見つける。殊に、時局の進展に伴ひ國民皆勞の見地からして、將來、隣組或は町内會單位の常設保育所さへ出現の氣運にさへある。既に東京府に於ては此の種の施設の設置豫算さへ計上されたと聞いてゐる。

このような情勢の下に在つて、一方、近時人口増強の必要が力説され、政府は昭和十六年一月人口政策確立要綱を決定し之が強力なる實施のために厚生省に人口局を創設したのであつたが、保育所が單に社會事業として存在してゐた時代から更に勞力調整の一方途としての意義を持つに至り、加ふるに、乳幼兒を保育することによつて心身の健全なる成長を圖り以て人的資質の增强に寄與するといふ重要な意義をも併有するに至つたのである。乳幼兒の死亡率低下、その心身の健全なる育成、更に育児思想の普及といふ幾つの使命が保育所に課せられるに至つたのである。此處に於て保育所は最早單なる乳幼兒の預り所ではなくつたのである。こうなつてくると此の目的に添ふためには、相當な設備も、適當な人材も必要となつてくる。今日迄、保育所は保育料の低廉、保育時間の長時間なること等をそ

の特長として來たが、更に加ふるに設備の充實と保母の資質の向上、保育内容の改善を圖らねばならない。例へば設備に關しては、保健衛生、體育運動設備の充實、教養保育上の設備の整備、保母に關しては從來の社會事業的觀念や知識に加ふるに現在の幼稚園保母以上の保育知識や技能、保健衛生上の知識や技能の習得を必要とする。最早、保育所の保母は幼稚園保母以上の知識や技能や信念を持合さねばならない。こゝに、保母の資格や待遇の問題が出てくる。今日まで、政府は専ら保育所の増設、設置助成に努力して來たが、最早、それだけでは足らないのである。その内容の改善向上に努力せねばならない時代が來たのである。そして、また、今日まで、或程度自由放任で設置されて來た保育所は今や國家的要請に基いてその配置についても計畫的に考慮されねばならない。

このように考へてくると、保育所の持つ使命は極めて重いのであるが、これに鑑みて保育所の制度化といふことが問題になつて來る。既に、託児所令や保育所令の公布といふことについては、嘗ての社會事業の時代（大正年間）に於ても、或は社會事業大會に於て、また兒童保護事業大會に於て、其の他色々な社會事業の關係の會合で建議案として或は決議案として提出され決議若くは建議されてゐる。然し乍ら、今日に於ては是等の決議や建議は今一度び考へ直

されねばならない。それは、保育所を最早所謂保育所だけの範圍で考へられないからである。即ち、等しく乳幼兒の保育の任に當り而もその經營や實際の受託の方針如何によつては保育所と少しも異らない幼稚園も含めて考へ直されねばならない。即ち、幼稚園と保育所とはその出發の事情は異にしてゐても、今日に於ては等しく乳幼兒の保育施設として一方に於て努力の調整といふ國家產業の異常なる進展に對應する施設であり、他面人的資源の保護育成といふ國本の培養に貢獻する所の施設であらねばならない。このことは既に貧富の他の階級的差別を超越した問題である。幼稚園が今日舊態依然として是等の時代の要求に超然としてゐることを許されない事態に立ち至るのも程遠からぬこゝ考へる。幼稚園が今日の如く短時間の保育に終始し、また、所謂狹義の保育五項目に依る教育に終始してゐる以上、時代から取り残された施設として徒らに殘骸をさらすこゝならう。それと同時に保育所は今日の如く不備不完全な狀態から脱却しました幼稚園の徒らなる模倣から脱け切れない以上之れも亦時代の進展に則することの出來ぬ施設となり終るであらう。こゝに今日の保育所と幼稚園のそれとの悩みがある。この兩者の悩みを解決するには是等の兩施設を一應一體として考へて見ねばならない。兩者に夫々の悩みがあり、兩者に共通した目的があり、兩者に

夫々の長所と缺點がある以上、一應一體として考へて見ることは誰れしも肯定出来るであらう。固より幼稚園が幼稚園令に依つて經營されその所管は文部省に屬し、保育所は社会事業法に依る届出に依り補助を受けて厚生省の所管に屬してゐるとはいへ、一應是等の所管關係を離れて一體として考へて見ねばならない。そこに兩者を一體として新なる發展段階に入る途が拓けてくるを考へるし、また、現下の時局は益々斯くあるべきことを要請してゐるを考へるのである。

固より乳幼児に貧富の差をつけるべくでなく、また、保母に保育所と幼稚園の間に優劣のあるべき筈もないのが當然である。最近、保健婦は全國を打つて一丸とする保健婦協會を結成した。是等保健婦の中には産婆出身の人もあり看護婦出身の人もある。また、それ以外の人もあらう。然し從來の色々な行がかりを捨てゝ大同團結したことは洵に邦家のため慶祝すべきことを思ふ。然るに、保育の方面はさうであろう。筆者の知つてゐる範囲では幼稚園の保母と保育所の保母との大同團結は繞かに大阪の全日本保育聯盟あるのみである。而も、これとも關西方面の保育施設の關係者が主となつてゐるように考へる。保母は幼稚園と保育所のそれを合すれば、優に一萬數千名(季節保育所は之を除く)に達するものと考へられる。一萬數千の保育從事者の

大同團結は、まづ、保育所と幼稚園の問題を解決する礎石となるであらう。この礎石の上に立つて共同の要求が要求されしもよう。この礎石の上に立つて新なる共同の方向も決定されるであらう。假に若し「託児所の保母さんなんかいふ思ひ上つた考へがあつたり、「幼稚園の保母さんと一緒にでは」いふ偏見があつたりしたのでは、この問題の解決は出來ない。「等しく乳幼児保育の重大使命に從事する者」いふ高い廣い見地に立つてこそ大同團結は可能であり、我が國の保育事業に新しき方向が見出され、更に最も大切なことは日本の乳幼児の幸福が齎されるのである。

保育行政のことに關しては、文部省や厚生省で色々と研究し合ふことは出来るこころ考へる。だが、このよくな話し合ひや共同の研究を促進させるのは、先づ、保育所と幼稚園の保育從事者の大同團結の力があらう。私は何處かでこの問題が起きて来るのを心俟ちに俟つてゐる。いや、今までに既に起きてゐたのかも知れない。だが、時機は今である。全日本の保育從事者を打つて一丸とした大同團結の時は今である。筆者も之に關して多少の意見は持合せてゐる。だが、暫くチツと動きを見てゐたいのである。それは幼稚園や保育所の保母の方々が如何なる程度にこのよくな使命を自覺されてゐるかである。「物皆必要ありて存在し、物皆理由ありて動く」熱せざる鐵は打つべからず。鐵は熱した時

に打つのである。幼稚園は舊態を維持しつゝ枯渴すべきか。保育所は時代の浪に乗りつゝも力足らずして彼岸に達せざるか。而して兩者の保姆は唯々諾々として此の自然の運命に服従するか。私は必ずや、心ある保姆の方々の奮起を期待するのである。

時局愈々重大を加へつゝある昭和十七年の記念すべき初頭に當つて、保育所の沿革と現状の概要を述べ、更にその將來を托し、幼稚園との一體を劃して、先づ、幼稚園とその保育從事者各位の一考を煩はし、やがて進展すべき保育事業の將來に望を嘱し、日本の乳幼兒の將來の幸福を念願しつゝ此の稿を終る次第である。(昭和十六年十二月二日)

## 保育實習科生徒

### 募集について

今年度の東京女子高等師範學校保育實習科生徒募集の大略は次の由にきて居ります。

募集人員	凡二十四名
出願期限	二月一日より同月廿八日まで
試験期日	三月中旬頃
官報廣告	一月廿日頃
き下さい	委細は東京女子高等師範學校教務課(東京小石川區大塚町三五)につきその詳細をお聞

(編輯部)

## 戦時幼稚園の用意

倉橋 憲三

- 一、あなたの幼稚園に宣戰の御詔書が掲げてありますね。職員室に。
- 一、あなたの幼稚園に太平洋戰局地圖が掲げてありますね。職員室に。幼兒の目にも見へるところに。
- 一、あなたの幼稚園にラジオが備へつけてありますね。ニースを缺かさず聞く様に手配してありますね。
- 一、あなたの幼稚園に、いざといふ時、幼兒をどうするか、こまかい計畫が出来てゐませうね。
- 一、あなたの幼稚園に、いざといふ時、幼兒と家庭との連絡はしつかり準備されてゐませうね。
- 一、あなたの幼稚園に、いざといふ時の水の用意、砂の用意、わらばたきの用意が出来てゐませうね。
- 一、あなたの幼稚園に、いざといふ時の燈火の用意、食糧の用意、飲料水の用意が出来てゐませうね。
- 一、あなたの心の落ちつきが、完全に出来てゐませうね。
- 一、あなたの働き衣服が、充分にこしらへてありますね。

# 國民學校理數科の實際

(その二)

東京女子高等師範學校附屬國民學校主事

堀 藏七

一、國民學校理數科の實際について御詫申上げますには、先づ國民學校理數科及びその要旨について一應説明する必要があります。

國民學校の理數科は、申すまでもなく、國民學校の教育

目的を達成するために新に設けられた教科であります。國民學校令第一條にある如く、國民學校ハ皇國ノ道ニ則リテ初等普通教育ヲ施シ國民ノ基礎的鍛成ヲ爲スコトヲ目的トスルのであります。この目的を達成する爲に、國民學校初等科では、國民科・理數科・體鍛科・藝能科の四教科を新に設け、高等科では、これに實業科を加へて、五教科を新に設けられたものであることは、皆さんよく御承知の通りであります。従つて、從來、小學校に於て課せられた十三の教科目を統合して四教科又は五教科としたものと考へるのは誤りであります。それで、小學校の教科目であつた算術ミシ初等科ノ女兒ニ付テハ裁縫ノ科目ヲ、高等科ノ女兒ニ付

理科ミを統合して理數科としたものと考へてはいけません。新に設けられた理數科は、教材の性質特色等によつて、算數ミ理科ミに分化するのであります。このことは國民學校令第四條を注意してお読みになるご明白であります。即ち第四條には次の如く規定してあります。

第四條 國民學校ノ教科ハ初等科及ビ高等科ヲ通シ國民科、理數科、體鍛科及ビ藝能科トシ高等科ニ在リテハ實業科ヲ加フ

國民科ハ之ヲ分チテ修身、國語、國史及ビ地理ノ科目トス

理數科ハ之ヲ分チテ算數及ビ理科ノ科目トス體鍛科ハ之ヲ分チテ體操及ビ武道ノ科目トス但シ女兒ニ付テハ武道ヲ缺クコトヲ得。

藝能科ハ之ヲ分チテ音樂、習字、圖畫及ビ工作ノ科目ト

テハ家事及ビ裁縫ノ科目ヲ加フ。

實業科ハ之ヲ分チテ農業、工業、商業又ハ水產ノ科目トス

前五項ニ掲タル科目ノ外高等科ニ於テハ外國語其ノ他必要ナル科目ヲ設クルコトヲ得

以上の如く、國民學校では新に教科を設け、更にその教科を分ちてそれゝの科目となすものであります。ですから理數科も國民學校の目的を達成する教科の一であり、それが算數ヨリ理科ヨリ分れるのであります。

## 二

國民學校で新に設けられた理數科は、國民の基礎的鍛成をなすため、國民の隨ふべき道の「理知的な方面」の修練を組織化したものであります。茲にいふ「國民の隨ふべき道の理知的な方面」ヨリは、「ものごとを正しく見、正しく考へ、正しく扱つて道理に適つた、しかも創造的な生活をなし國運發展の實を擧げるやうな方面」であります。この方面的修練をする目的で、理數科が新に設けられたのであります。それで國民學校令施行規則第七條には、次の如く理數科の要旨を表はしてあります。

理數科ハ通常ノ事物現象ヲ正確ニ考察シ處理スルノ能ヲ得シメ之ヲ生活上ノ實踐ニ導キ合理創造ノ精神ヲ涵養シ國運ノ發展ニ貢獻スルノ素地ニ培フヲ以テ要旨トス

この理數科の要旨に於て、「通常ノ事物現象」ヨリあるのは日常普通な事物現象をさすのであります。特殊なもの、また珍奇な稀有な事物や現象などをいふではありません。大日本國民としての生活上日常普通なものであり、事物現象も單に自然物や自然現象に限定した意味ではありません。自然界は勿論、國民生活に於ける事物現象が凡て含まれてゐるのであります。それで理數科の要旨には特に注意して、「通常ノ事物現象」ヨリあるのであります。従つて理數科に於て、考察し處理させる對象は廣く通常の事物現象であります。是等の中で、特に「理知的なはたらきかけ」をなすに適した普通の事物現象が選擇せられねばなりません。教材の具體的なこゝにについては後に詳しく述べます。茲では「通常ノ事物現象」ヨリあるこゝを説明します。次に理數科の要旨に於て、「正確ニ考察シ處理スルノ能ヲ得シメ」ヨリあります。この「考察シ處理スルノ能」ヨリは、「ものごとを見、考へ、扱ふはたらき」のこゝであります。一體考察には、必ず觀察が先行しなければなりません。即ち事物現象を觀察し思考せねばなりませんから、單に觀察しますが、これは觀察思考を意味するもので、「見、考へるはたらき」を表はすのであります。處理ヨリ言葉は平易にいへば「扱ふ」ヨリであります。「扱ふ」ヨリいへば、いろいろの意義が含まれるから、特に處理ヨリ言葉を使用した

ものであります。それで考察シ處理スルノ能」といふのは、「觀察・思考・處理ノ能」であります。觀察・思考・處理は、事物理象に對して我々のなす「はたらき」であります。しかし「これ等は決して別々のものではありません。一つの「はたらき」、即ち「一つの能」の異つた相を表はしたものであります。それで特に「考察シ處理スルノ能」さあるのであります。「考察するの能」と「處理するの能」と、割然區別せらるべきものであります。實際に於て、考察シ處理ははつきり區別がありません。實際に於て、考察シ處理ははつきり區別が出来ず、勿論觀察・思考・處理もはつきり區別出来ないのであります。一つのはたらきとして現はれるこもあり、またいづれかの一つが主となり、他が副になつて現はれる場合もあるのであります。即ち多くの場合考察には處理を伴ひ、處理には考察を必要とするのであります。しかし、また、考察が主となる場合も多く、處理が主となる場合も少くないのであります。尙ほ觀察・思考・處理は兒童發達の程度によつても異なるのであります。兒童が幼少なる場合には觀察が主となり、思考も處理も副となるものであるが、次第に思考のはたらきが加はり、處理を必要とするに至るのであります。そして思考のはたらきも發達し處理の能力も進歩するのであります。

兎に角、考察シ處理とははつきり區別するこが出來ないから特に「正確ニ考察シ處理スルノ能」さあるのでありま

す。「考察スルノ能」と「處理スルノ能」を區別して表はさず、「考察シ處理スルノ能」さあるのであります。しかも「正確ニ」は考察にも處理にもかかるのであります。それで「正確ニ」は考察にも處理にもかかるのであります。それでは「正確ニ」が考察にも處理にもかかるやうに「正確ニ考察シ處理スルノ能」になつたものであります。正確たゞしくたしかなこに確實。而して茲に「正確ニ」さあるは觀察・思考・處理の仕方が「正しく、くはしく、明らかに」といふ意義を有するものであります。即ち「正確」は「精確」、「的確」、「確實」、「明確」等の意義を凡て包含するものとして使用せられてゐるのであります。

故に「正確ニ考察シ處理スル」とこは「正しく、くはしく、明らかに見、考へ、扱ふ」とあります。これも兒童の發達に即應して次第に「正しく、くはしく、明らかに」進歩するものであるこ勿論であります。即ち理數科は通常の事物現象を正確に考察し處理するの能を得しめ之を生活上の實踐に導くこが緊要であります。國民生活に於ける事物

現象に對して正確に考察し處理する理知的なはたらきかけをなすことは、當然、國民生活に於ける事物現象の觀念、知識が得られ、知能が啓かれ、技能が磨かれるわけであつて、これ等が眞に身について實際生活に現はれるやうにならねばならぬのであります。

かく「ものごとの正しい見方、考へ方、扱ひ方」が身につくやうに修練せられるときは、ものごとの「すぢみち」、「こゝはり」を見出し、これを辨へ、これに循ふ心が養はれ、更新なるものごとを創造せんとする心」が啓發せられるのであります。これが所謂「合理創造の精神」であります。この合理創造の精神が涵養せられ、この精神が發動するごとに、その道理が明らかになり、生活が道理に適ふやうになります。且つ、創造的になります。従つて國運發展の實を擧げることが出来るのであります。以上の意義精神を理數科の要旨は明白に表はしてゐるのであります。即ち「理數科は通常ノ事物現象ヲ正確ニ考察シ處理スルノ能ヲ得シメ之ヲ生活上ノ實踐ニ導キ合理創造ノ精神ヲ涵養シ國運ノ發展ニ貢獻スルノ素地ニ培フヲ以テ、要旨トス」と、規定せられてゐます。茲に「之ヲ」であるは、「正確ニ考察シ處理スルノ能」を受けてゐることは無論であります。また「正確ニ考察シ處理スルノ能ヲ得シメ之ヲ生活上ノ實踐ニ導キ合理創造ノ精神ヲ涵養」すれば、「國運ノ發展ニ貢獻スルノ素地ニ培

フ」ことを得るのであります。特に「國運ノ發展ニ貢獻スルヲ以テ」、表はしてなく、「國運ノ發展ニ貢獻スルノ素地ニ培フヲ以テ」ある點に留意せねばなりません。國民學校の理數科の教育が如何に完全に行はれても、直に國民學校兒童が國運の發展に貢獻することが不可能であるからであります。即ち國運の發展に貢獻するの素地に培ふ程度に止まるからであります。

### 三、

理數科は既に述べた要旨を最も有效に達成するやうに組織せらるべきものであります。故に理數科の組織は決して既成の數學とか自然科學とかを考へ、それを統合して教授せんが爲め是等の學問の既成の體系を基本として樹立せらるべきものでありません。既成の數學や自然科學の體系によつて拘束せられることなく、理數科はその要旨を達成するに最も有效なる組織をなすべきものであります。また小學校に於ける算術と理科との教材やその組織にも制肘せられるところなく、理數科の要旨を最も有效に達成するやうに理數科算數もまた理數科理科も分化せらるべきであります。それで理數科の目的とする「ものごとの見方、考へ方、扱ひ方を正しくし道理にかなつた、創造的な生活をするやうな修練を行はせる」のに、事物現象を數量的に又、空間的に明らかに捉へることを中心として行ふのが算數の荷ふ任

務であり、自然界の事物現象をありのまゝの姿を捉へる」ことを中心として行ふのが理科の任務であります。

それで國民學校令施行規則第八條には、

「理數科算數ハ數・量・形ニ關シ國民生活ニ須要ナル普通ノ知識技能ヲ得シメ數理的處理ニ習熟セシメ數理思想ヲ涵養スルモノトス」<sup>3)</sup> 理數科算數ノ目的ヲ表シテあります。また國民學校令施行規則第八條には、

理數科理科ハ自然界ノ事物現象及自然ノ理法ト其ノ應用ニ關シ國民生活ニ須要ナル普通ノ知識技能ヲ得シメ科學的處理ノ方法ヲ會得セシメ科學的精神ヲ涵養スルモノトス」<sup>4)</sup> 理數科理科の目的を表はしてあります。これからこの兩者を比較對照して見ませう。

(1) 「數量・形ニ關シ」は算數に於ける考察處理の對象を示し、「自然界ノ事物現象及自然ノ理法ト其ノ應用ニ關シ」は、理科に於ける考察處理の對象を示すものであります。理數科に於ける考察處理の對象である「通常ノ事物現象」には、「數量・形」も、「自然界ノ事物現象及自然ノ理法ト其ノ應用」も含むのであります。「通常ノ事物現象」に伴ふ「數・量・形」に關して考察處理することを主として算數にて行ひ、理科では自然界ノ事物現象及自然ノ理法ト其ノ應用について考察處理することを主とするのであります。

(2) 次に算數に於ても理科に於ても、共に、國民生活ニ

須要ナル普通ノ」といふ語があります。この「國民生活ニ須要ナル」と「普通ノ」といふ言葉はそれ以下の全體にかかるのであります。單に「知識技能ヲ得シメ」だけでなく、「數理的處理」にも、「科學的處理ノ方法」にもかゝり、「數理思想」及び「科學的精神」にもかかるのであります。即ち「知識技能」も「數理的處理」も「科學的處理ノ方法」も、また「數理思想」も「科學的精神」も國民生活に須要なる普通のものでなくてはならぬのであります、茲に國民の基礎的鍊成をなすために新に設けられた理數科、その分科せる算數、理科の特色があるのであります。それで「國民生活ニ須要ナル普通ノ」一句は頗る重大なる意義を有するものであります。

(3) 「知識技能ヲ得シメ」は、算數と理科と共通であるが、算數では「數・量・形ニ關スル知識技能」であり、理科では「自然界ノ事物現象及自然ノ理法ト其ノ應用ニ關スル知識技能」であることは申すまでもありません。従つて算數と理科との知識技能の内容は自ら異なるのであります。しかしこれは大體のことで、割然たる區別や境界がある筈ではなく、共に理數科に於て考察處理の結果習得せらるべき知識技能の内容をなすものであります。

(4) 算數では「數理的處理ニ習熟セシメ」とあり、理科では「科學的處理ノ方法ヲ會得セシメ」とあります。若し理科に於ても「科學的處理ニ習熟セシメ」とあれば、頗る高い程

度のことを要求することにより、無理となるのであります。こゝに科學的處理ノ方法ヲ會得セシメ」ミなせる理由を十分考慮せねばなりません。即ち算數では「數理的處理ニ習熟セシメ」さあるにもかゝはらず、理科では特に「科學的處理ノ方法ヲ會得セシメ」さある所以を十分理會せねばならぬのであります。

(5) 算數に於ては、「數理思想ヲ涵養スル」ミあり、理科に於ては、科學的精神を涵養スル」ミあります。これは理數科の要旨にある「合理創造ノ精神」の兩面であります。合理創造の精神は既に説明した如く、「ものごとのすぢみち、こゝわりを見出し、これを辨へ、これに循ひ、更に異なるものを創造せんとする心」であります。そこで算數では、ものごとの中、特に數量的に又空間部にはたらきかけるに適したもののが中心となるから、「すぢみち」、「こゝわり」も數・量空間の理法、即ち數理が中心となるのであります。従つて數理思想は、「自然界並びに國民生活に於ける事物現象を數理的に捉へ、又それ等の事物現象の中に數理を見出し、これを辨へ、これに循ひ、更に生活を數理的に發展せしめ、新なるものを創造せんとする精神」であります。隨つてその根本には數理的な直覺を基として現實に直接する心、數理的なものを愛好する心がなくてはならないのであります。同時に、論理的に正しく明らかに考察し處理する精神的態

度であり、又、理法の發展とそれに基づいて新なるものを創造せんとする精神的態度であります。

また科學的精神性も合理創造の精神の一の相であります。

理科はものごとの中、特に、自然界の事物現象を中心とするもので、「すぢみち」「こゝわり」も、自然の理法が中心となるのであります。即ち科學的精神性は「自然のありのまゝの姿をつかみ、自然の理法を見出し、これを辨へ、これに循ひ、更に異なるものを創造せんとする精神」であります。随つてその根本には、自然に親しむ心、自然と和する心がなくてはならないのであります。そして同時に、あくまでも現實に即して、正しく、くはしく、明らかにものごとを考察し處理する精神的態度であります。これが所謂科學する心であります。精神的態度であり、又、常に工夫をめぐらして、ものごとのはたらきをよくし、よりよいものを生み出さうとする精神的態度であります。これが所謂數學する心であります。以上説明したるが如く、算數はその特色を發揮することによつてその目的を達成し、理科と相俟つて理數科の要旨を達成すべきであります。換言すれば算數と理科とはそれべくその特色を發揮するに共に相互に緊密な聯關係をなし相俟つて理數科の要旨を達成するやうに教育せらるべきであります。

# 子供の病氣怖るべからず悔るべからず

醫學博士 竹内薰兵

○

「空襲怖るべからず、侮るべからず」といふのが、今この大東亜戦争に於ける、防衛部の空襲に對する指導方針であると聞かされて居ります。「怖るべからず侮るべからず」は、何も空襲に限らず、凡そ敵の名の付くものに對しては、いつでもこの覺悟でなくてはならぬのであります。が、この度特に防衛部がこの言葉を強調されたところを以て見るに、現時特に空襲に對して怖れたり侮つたりする傾向が國民にあると思はなければなりません。この考は飽くまでも是正すべきであります。

これと同じことが子供の病氣に對する親御さん達の考についても言へります。つまり、子供の病氣といふものに對して、必要以上に怖れたり、又侮つたりする。このために敢て親御さん達のみいはず、子供の周囲の方はその位無駄な心配や手數を費してゐるか判りません。この

心配や手數の影響は、之をなさる周囲の方々に悪結果を來たすのみならず、子供自身の心身兩面に取つて非常に面白くない事になるのであります。

こういふことになるのは、子供を直接取り扱ふ方々の、子供の病氣に對する知識の不足から來ることは勿論であります。が、知識を持つ前に子供の病氣に對して、「怖るべからず、侮るべからず」といふ根本觀念をしつかりと据えておくことが肝腎であります。この根本觀念を強く基礎づけるために、子供の病氣の場合に來る主要症候を少し擧げてお話しする所にいたします。

## 一、熱怖るべからず

病氣といへば熱、熱さきけば病氣といふやうにいつも關聯して考へられ、いつも關聯して怖れられてゐます。熱さへなければまあよかつたと蘇つた氣持になる人が隨分多いのであります。いかにも熱は病氣の一面であり、病氣でな

いのに熱の出るこことはありません。あたかも戦の時の大砲の音のやうなもので砲聲は必ず戦を意味します。憶病者は砲聲を聞くと直ぐにスハ敵襲と怖れ裸くでありますうが、思慮あり沈着な軍人は、先づ敵か味方か見極めて、さて適當に處置を取るのであります。熱は身體に病氣在るを示す砲聲に相違ありませんが、奚を知らん、この砲聲は、味方を攻撃して来る敵襲ではなくして、病氣といふ敵を擊退しようとする努力する有り難い味方の砲聲なのであります。

この砲聲を悪んだり、或は止めさせようとするのは忘恩行爲でもあり、功利的に考へれば實際損なこことある。

もつさくドシ打つて下さい大砲に頼んでよいわけである。しかし、あまりひざく、しかも耳の傍で打たれたりするごとく、却てこちらの耳の鼓膜を破つたり、頭へ響いたりするから、敵を打ち拂つてくれる大砲とはいいへ、先づよい加減に打つて貰つておきたい氣持になる如く、熱も病氣を追つ拂つてくれるは有り難いが、あまり高熱が續いては却て身體に障ることがある。こういふ場合や僅かな熱でもひざくからだにこたへるやうな時無理にも熱を下げる工夫をするのである。

實際、熱そのものが身體を害するこことは、こういふ場合の外はないものである。小供は大人と異つて熱に對する抵抗力が相當に大きい性質を持つて居るから、一寸熱

があると云つて大騒ぎするやうなこことは無益であるばかりでなく、今申した通り、むしろ子供のために有害である場合の方が多いのであります。

況して、二分や三分の昇降を、一聲一笑するなど愚の骨頂であります。

熱の出た場合、醫師が要求する手當は別であります。それでない限りは、只静かに子供を寝かしておくことがよいので、水枕を頭にあてるこことは害ありません。水枕に至つては必しもおすゝめいたしません。むしろそれは醫師に診察を受けてから、醫師の意見に従ふことにした方が安全であります。

## ○

### 二、咳怖るべからず

咳をするこ百日咳ではないかと怖れ、肺病にかゝつたのかと怖れ或は肺炎ではないでせうかと怖ろしがる方が多いのですが、この中でこの病氣でも決して咳ばかり出るものではありません。必ずいろいろな容體が附屬して來るものですから、咳が出るといつただけで、少しも怖れるこはありません。そんな病氣でも咳そのものゝために子供が命を縮められるやうなこことはないであります。

咳の出て来る場所は咽頭や喉頭に在るこもあり、或は氣管、氣管枝、毛細氣管枝、肺胞などいろいろあります。

咳を止めるためには、この咳の出處をつきこめて、そこに對する手當をすることが何は措いても爲べきであります。その外、咳に對する共通な手當としては、清淨で寒くない溫度の空氣を呼吸することです。無闇に部屋を閉め切つたり、炭火をさしぐる焚く部屋に咳の出る子供を置いたのでは咳の治りませんのは、第一こういふ譯だからであります。

### 三、下痢怖るべからず

大便が何度も出る。これを下剤とはいひません。便そのものが軟かい又は水の様だといひます。必しも回數には關係しませんが、こう云つた便是回數が多くなるものです。しかし、下痢は怖るべきであります。一日に十回かもつゝ出るやうでは、それだけで子供の身體は疲勞しますが、僅かの回數なら心配するに及びません。心配するに及ばないことは醫師にも見てもらはないで放つこいてよい

### 四、便祕怖るべからず

下痢の手當はいかなる場合でも、食べ物、飲み物に重點を置くのであります。或は飲食物に限るといへる位です。飲食物の注意さへすれば治るといひ得る位です。

しかし、それよりも著るしきこは、近頃の母親の方一概に云つてもよいほど、乳児の便の青いのを氣にする傾向です。乳児の便が少し青ばんだのが出まするを、この便

は病氣の便だと思ふらしいのです。「もうも近頃赤ん坊の便が悪いものですから」などと訴へて来るから、その悪いいふ便を見ますと、ナアんだ、普通便へ少し青味がつてゐるだけのことが、實に屢々あるのです。乳児の便是青くてもよいのです。青便が出るから脚氣だ定めるこなは、大間違です。青便も普通の中だと思つて斷然差支ありません。それから病にもう一つ申添へますが、母乳を検査する

脚氣があるか無いか判るなさゝ稱へて、母乳を検査して、何とかいふ薬を入れる。脚氣の有る無しが色で判るなさゝ御町壁に料金まで取つて検査してゐるところがある。聞きますが、そんな一寸した位のことで母乳検査から脚氣が判るものでなく、學會はまだ決して認めてゐない方法ですから、母親の方は迷はないやうに願ひたいものです……といふこです。



さうか、普通以上よい便祕さいふべきです。

さうが、さういふものか、一日一回を法律でどうあるかのやうに考へて、「一日一回の便通がなければ何かエライ事でも起るか、起つたかの如く考へる母親の方が澤山にあることを私は知つてゐます。そういう方には、熱が出るさそれは便通のないせい、頭が痛くても、元氣が無くなつても、凡て子供の病氣の數にはすべて罪を便祕に歸しやうとしてゐる方があることも屢々です。そんな無条な獨斷をやつてはいけません。便祕するには便祕した方が、子供の身體に好都合だから便祕すると思つてなるべく自然に出るまでそのまゝにしておくがよいのであります。私は一週間位は、そのまゝにして、決して灌腸などしない方がよいと素お勧めしてゐます。灌腸といふことは便祕を助長しそれ決して便通をよくする手段ではありません。のみならず灌腸によりて病氣の傳染を起こすといふ危険さへあります。

しかし、便祕に對して、拱手傍観するのはよくありません。矢張り手當だけはすべきです。その手當の中、醫師のやることは別として、家庭では、矢張り飲食物を變へてかかるが最も大切です。さう變へるかは自ら別の項目になりますが……。

## 五、痙攣怖るべからず

痙攣怖るべからず、一概に痙攣(即ちひきつけ)といふ容體を斷定して終ふるのは、實は少し輕卒かも知れない。何なれば痙攣はいつも脳に於ける所謂痙攣中樞の刺戟現象であつて、この刺戟は必しも輕い意味の原因からのみ起るこいへないからである。然し、少くとも、痙攣だけで外の容體を交へない場合には子供の生命に對する危険はないものであることは云へるのであります。いふ意味では痙攣怖るべからずともいへる譯であります。

○

こう並べて來る、主な子供の病氣の容體の何一つ怖るべきものはないのであります。それでは子供の病氣になつた場合怖ろしくないものがござ放置して見て居ればよいかといふことを必ずしもそうではないのであります。何となれば、以上述べた子供の病氣の主なる容體といふべき五症候は、單一に來る時は怖るべきではないが、この中、二つ以上が合併して來る、こゝに始めて侮るべからざる子供の病氣を形成するのであります。

例へば、熱と咳と合併して來ますと、惡性流感も肺炎も一應は考へなければならぬのであり、熱と下痢を伴ひ來れば、赤痢も疫痢もそうなのであります。その他咳と下痢、熱と便祕、或は熱と痙攣。下痢と痙攣と咳など、この五症候の中を二つか三つ取つての順列や組み合せのどれもがそ

れぐ、一つづゝの病氣となり、又同じ病氣でもそれぐ輕重があるのであります。それ故その數は（即ち病氣の數）非常に多くなる。剩へ、私の舉げた症候（容體のこと）は僅に主要なる五種に限つておきましたが、之を、五種に限らず、

吐きさか痛みさか不眠さか食慾不良さか、もつゞ多數の容

體を擧げて、それ等多數の症候の順列、組み合せを考へる事、その一つ／＼が一つの病氣となつて來るのであります。病氣そのものに（即ち病名が定まれば即座に）輕い重いが定まる病氣もあり、又、同じ一つの病氣の中に輕度の別のあるものもあり、又々、同じ病氣でも、罹つた子供の體質で輕い重いの別れる事もあります。

こういふ譯になりますから、容體の多くから成り立つてゐる病氣は仲々に侮り難いものであります。ほんとうに侮り難い病氣か、否、輕蔑してよい病氣かは、いつもその病氣にかかるつてゐる子供々々で違ひますから、その都度お医者者が診療して決定する筈であります。が、家庭に於ける子供の周囲の方々さ雖一應の心得は必要であります。

私の述べたことは、約言すれば、「單一容體怖るべからず、複合容體侮るべからず」といふことになります。  
詳しく云へば、しかし、ほんとうにその子供が、單一容體であるが、外に容體はないかといふことを決定するのには、醫師でなければ出來ない事ではあります。

こしてはごく大雑把に單一容體、複合容體といふことにだけでも着眼していたらきたくの一篇を草した次第であります。（丁）

### 保姆先生の健康

子どもを健康に。といつしよに、保姆先生の健康も大切ですね。それは、貴女のためであると共に、子どものためです。子どもをほんとうに丈夫にするには、保姆さんが先づ丈夫でないとむづかしい。

健康は生理的の問題であると同時に、心理的の問題ですね。先生の顔色が、動作が聲音が、それ以上、精神力が、充分健康でないぞ、子どもも自然弱くなります。

病菌の傳染、その方のことは私にはよく分らないが、病氣の感じの傳染は、心理的のことです。先生が病菌をもつてゐては困る。それを子どもに撒きちらしてはだまらない。しかし、陰氣くさい、元氣のない、不健康な心持ちが、周囲の子どもを病氣にすることも、よく考へて置かなければなりませんまい。

藥と手當のことは私には全く分らない。しかし、健康な脸色や、健康な笑ひ聲が、子どもの大抵の病氣を治すのに、大きな効力のあることは確かです。幼稚園常備藥として是非そなへて置くべきものですね。  
受持ちの先生のからだが弱い程、子どもらに氣の毒のことはありません。

（くらはし）

# 獨逸幼稚園の本質

獨逸大使館 エーディット・ベルグル

今を去る百一年前、獨逸の小都市ブランケンブルクに於いてフリードリッヒ・フレーベルによつて、最初の幼稚園の基礎がおかれたのであります。それは彼が自分の身邊をさりまく少數の家族に對して、人間の教育をしたいといふ彼年來の理想を實現するための手段として設けられたものであります。これをばフレーベルは、家族のための神の園、子供の園と考へて(この言葉を彼自身が考へ出したのであります)、この園に於いてのみ人は、生得の賜物を伸展することが出来るのであると主張するのであります。この二つの選ばれた名前は私共にフレーベルの考へたところの理念をば思はしめるのであります。而して亦これが近代幼稚園の基礎を爲すところのものでもあります。

彼は亦主張するのであります。人は花園に於ける植物の如きものであり、教育される子供は種子の如きものである。即ち内に双葉の芽を有してゐるのであるから、園丁はこれを導き最も自然の方法によつて、その芽をひき出し、之を導き、之をのばさなければならぬ、かくの如くフレーベルは教育の理念をば、組織的生成的生命の形式に結びつけて考へたのであります。而して人間の教育を正面にふりかざしし、先づこの理想を獨逸の人の教育に力を盡したのであります。然し乍らこの理念は、此の時代に在つては最も新しい思想であつたのでした。

單にフレーベルはこの様な認識をもつのみならず、進んで彼は教育の形式、教育の標準をば發見することに努力しましたのであります。而も、彼が子供達と共に日々を過すうちに、この理論は益々生々しく明瞭の度を加へ來つたのであります。子供にさつては、凡ての知識と経験は生命をば象徴化するのであります。これと平衡をさるためには他の個の事象をば、考へなければならないのです。かう考へた末、フレーベルは、子供を遊ばせたり、教へたりする標準は全く簡単なことに考へ及びました。即ち個々の事象を子供の知識とするために彼は極く簡単に玩具をば發見し、それを子供自身によつて考へ構成するといふ方法を三つたのであります。そこで彼が、幼稚園を開いた時には、子供達

に六つの恩物をつくりました、即ち球<sup>ミ</sup>、錦<sup>ミ</sup>其他四種の長方形、方形の木片であります、後には之に繪畫<sup>ミ</sup>か、歌なぞを加へたのであります。

かうした新しい教育の理念も然し乍ら最初は、大方の贊同を得なかつたのであります。獨逸の人達を専ら教育したいといふフレーベルの政治的・精神的目的を實現することを得なかつたのであります。充分に彼の意圖したところの理念を發展せしむることを得なかつたのであります。例へば

プロシアでは、數年間幼稚園を開くことを許しはしたもののが決してそれは、家族<sup>ミ</sup>學校<sup>ミ</sup>の間の部分たり得なかつたのであります、又獨逸の教育のための結合<sup>ミ</sup>となり得なかつたのであります。この時代に幼稚園は單なる有職婦人のための社會的援助の機關たるに過ぎなかつたのであります。さうでなければ、フレーベルの理念をば、大變嚴格な形式のうちに考へ、たゞ單に子供に教へることに終始し、子供をば全人的に、精神<sup>ミ</sup>肉體の關聯に於いて考へることを忘れてゐたといふ有様であります。

かう云つた状態の中に、ナチスが政權を獲得し、はじめて幼稚園にも素晴らしい發展を見るに至つたのであります。即ちナチス黨の社會福祉部が、始めたところの社會事業に對して、吾々は感謝したい氣持で一杯なのであります。今日獨逸の大きな村落には幼稚園を見ることが出来るやうに

なつたし、百人以上の生徒をもつてゐる學校の所在する村には、必ず亦、幼稚園がたてられてゐるのであります。今日に至つてフレーベルの理想は廣い基礎の上に實現されることが出來たのであります。

そしてフレーベルの繼承者は、フレーベルに對する大なる尊敬をもつて、この殘された理想をば完成しよう<sup>ミ</sup>努力してゐるのであります。

現代の幼稚園をば極く當初のブランケンブルグのそれと比較するならば、その間に多くの相異を見出すのであります。けれども、たゞその形式のみが大切なのではなくて、子供への態度が大切なのあります。故にこの中心の理想こそ發展せしめるべきであつて、形式は、それに伴つて發展するのであります。暫くのうちに幼稚園の數は増加しそれにつれて、任務は益々重大となり、そして新しい性格を近代の幼稚園に與へたのであります。教育的任務は、廣い社會的任務に迄變化し來り、遂には教養の任務<sup>ミ</sup>といふものも考へなければならない條件の一つとなつて來たのであります。この證明のために良い例證は、村落幼稚園であります。この村落幼稚園は過勞の田舎婦人のために子供の世話をするばかりでなく彼等は全村落の重要なそして積極的な生活をば指導するのであります。今日に於いては、田舎であつても、年中行事<sup>ミ</sup>してのお祭りのやうなことは、幼稚

園の行事から取り去つて了ふことは出来ないのであります。

教育の一部であらねばならないのであります。

す。亦、都會に在つては、例へば工場附設の幼稚園では、たゞ單に有職婦人の子供の教育、子供の世話をすることのみならず、或場合には、その家族の人達の生活をも守るのあります。そして子供のために家庭に於いて年中行事のお祝をするとか、たゞへば母の日の祝ひとか、クリスマス、復活祭などの家庭に於けるお祝ひを指導いたします。かくの如く幼稚園の役割といふものは、單なる幼稚園の子供の教育といふものを出て、その子供を通して、家庭に影響を及し、家庭をよく導いてゆかうといふところに重點が

おかなければならぬのであります。それは單に教育的

教育のみならず、同時に彼等の健康的教育の指導をも考慮しなければならないのであります。而してこのことは特に戦時下重大なことでありまして、食物の混亂は何かの栄養上の缺陷をともなふかも計りしれませんために、ビタミンなきを薬物で補ふといふやうな方法がござられて重視されて居ります。このやうに動いて行く時代の流れと共に幼稚園の任務は變化して行くのでありますが、吾々は楽しいよろこびに溢れた幸福な子供を幼稚園に持つべきであります。か云つてこの幼稚園なるものは、決して家庭を代りうべきものではないのであります。幼稚園はあくまで幼稚園であつて、家庭ではないのであつて、それは全獨逸の人々の

若し吾々が幼稚園をば全教育の計畫の中に挿し入れるならば、その時は當然若者の教育を管理することが出来るのであります。この管理は大いに、本原的な健康上の亦衛生上の問題についてのみならず、之を組織的に爲し、結合社會より生ずる新しい任務が全獨逸帝國に實現しうるやう組織をたるべきであります。然しこの仕事は澤山の人々の助けによつてのみ實現するのであるが故に、そのためにはナチス社會福祉部では、この小さい仕事を引きうけてゐるのであります。

ナチス社會福祉部の組織はナチス黨の組織と同様であります。地方に管理部をもつてゐるのであります。先づベルリンに本部があり、その下に縣の支部があり更に郡の支部があるのであります。郡は三〇〇、〇〇〇人位の人を包含し、その支部に一人の特別の婦人の教育者が配置されてをります、この婦人を「幼稚園指導者」とよびます。

この婦人はその地區の全幼稚園の責任を持つてゐるのであります。この仕事を完遂するのは中々容易なことではありません。この指導者が制定された第一年に、凡ての幼稚園をば一つのものに結合することになつたのでありました。是等のちがつた幼稚園はそれぞれまち々の指導者によつて管理され、公立あり、私立あり、工場附設のも

のあり、統一がされてゐなかつたために、この一つにする  
さいふこことは中々むづかしい困難が生じたのであります。  
而して、これに決定的な判定を與へなければならぬここと  
さなり、こゝに統一が出来上つたのであります。幼稚園の  
教育は一つの理想を以てこの理想にしたがつてプランをた  
て、獨逸の若者を教育すべきであるとの認識をもたなければ  
れはならないのであります。さういふことを希望するなら  
ば、吾々は凡ての幼稚園といふものを一つにしなければな  
らないといふ要望にかられるわけで、こゝに於いて種々難  
多、めいめい勝手な主義をぶりかざしてゐる私立の幼稚園  
を閉鎖してはなければならない考へ出されて來たので  
あります。然しこれが伴ふために、ナチス社會福祉部では  
幼稚園を導くための最善の方法を考へ出したのであります。  
即ち、幼稚園令を定め特別の規準が設けられました。  
それには、部屋がいくつなければならぬか庭の廣さなど  
もきめられてゐるのであります。さうしてこの規準を完全  
に實現し得るのは私立のものでも存續を許すこことし、  
その規準にしたがふために設備をこゝのへるに經濟力のな  
い者は閉鎖を命ぜられるとか、又はナチス社會福祉部の統  
一をうけて合併しなければならなくなつたのであります。  
かくしてナチス社會福祉部は凡ての幼稚園の指導たりま  
たわけであります。これらの定められた規準は中々程度の

高いものではありますが、しかも尙見ての幼稚園の設備を  
してよりよくあらしめんとしたのであります。而して統一  
をがへんじないものには閉鎖を命じるところ迄漕ぎつける  
こことが出来たのであります。施設はよくなり、社會に多く  
を寄與するを得たのであります。今迄經濟的理由から小  
さい不自由な部屋で哺育されてゐた子供達は、自然栄養の  
點にも不十分なこことが多く、従つて同様の理由は十分の保  
姆を雇ふこことが出来なかつたために目的とするこころの半  
分をも實現しえなかつたのであります。然し單なる金錢的  
な困難は幼稚園の標準を下げるとして、これは經濟的な  
力によつて解決されるこことはあります。幼稚園の内容  
としての子供がもつともつと大切なものです。このた  
めにナチス社會福祉部において資本を以て、私立のものに  
附加し、ナチス社會福祉部の計畫する標準に迄達せしめた  
のであります。

ナチス社會福祉部は凡ての點に於いて、常に新しい計畫  
者であり、幼稚園の統合の問題解決の後大なる計畫を以て  
園児の健康の問題につき一つの新しい方法を發明したので  
あります。ナチス社會福祉部は、幼稚園の任務の開拓者で  
あります。而も有らゆる新しい計畫に於いて必ず成功をお  
さめてゐるのであります。

幼稚園指導者の、他の今一つの仕事は、更に幼稚園を増

設する事があります。ナチス社會福祉部が、何かの工場の附設として、一つの幼稚園を開くとしても、さきにきめられた標準によつて、決して失敗はしないのです。今日ではナチス社會福祉部のみが幼稚園を開く権利をもつてゐるのであります。而して又かうした幼稚園がナチス社會福祉部の標準に準據した程度の高いものであれば、ナチス社會福祉部の組織は益々この基礎をより強化し、よりよくする事が出来るのであります。幼稚園の備品にしても、其管理下の凡ての幼稚園のものを、一緒にかためて買ふ事が出来るために、安價で、しかも、品質のよいものを商人を通じて作製させるし、組織としても段々経験をつむために、私立の幼稚園がてんでんばらばらの事をしてゐるのを、結果に於いて大分異なる事になるのであります。それでこの福祉部の統制の下に於かれてゐる幼稚園では全部が同じ材料のものを一その形成は別々であらうとも一備へつけてあるのです。例へばその幼稚園にも、含嗽のコップが子供の數だけ備へ付けられてゐるし、タオルも各自のサインをつけたものが、子供の數だけ備へ付けてあるのです。又各幼稚園には、臺所もあるし、子供用の家具としての机、戸棚其他備品は一切一定のサイズがきめられてゐて、大き過ぎず小さ過ぎず子供の身體に丁度適したもののがおかれています。玩具の様な小さいものすら、集團で

かぶ方がずつとよいのであります。然し乍らかうした劃一は、丁度工場なさで見る、何だか堅苦しい、窮屈な劃一性、餘裕のなさ形式一點張りの感じを見る人に抱かせるかもわかりませんが、もし數度、あちこちの幼稚園を訪ねるなら、その人はきつと、この心配はきて了ふことを感得するに違ひありません。さうしてナチス社會福祉部の目的が、幼稚園を美しく甚だよく整へてゐるのを御覧になるでせう。さの幼稚園にもたのしい、明るい子供の遊戯部屋があり、それは學校で見るやうな陰氣な殺風景なくらささいふものを全然感じさせないのであります。こゝの責任をもつてゐる若い女の先生達はこの職業教育をうけてゐる間に教習所で學んだ色々の美しい手工を、子供達のために作り、或は其他それぞれ自分の才能に應じて思付いたことを子供のためにいたします。そこでかうした同じ家具同じ玩具をもつて飾られてゐる各幼稚園も、すでに、こゝを受持つ人の個性によつて、それぞれ異つた個性美をあらはすやうになります。一つ一つが、特色のある雰圍気をもつ幼稚園となり、之を見學する人に、その指導者の才能といふものを見つかりと認識されるのであります。

幼稚園の中心に一番良い明るい然し餘り高くない床の冷たくない見るからに、はれやかな部屋を、子供の部屋に運び、こゝに天然色の木製の家具を配置します、これ等は水

で洗ふことが出来るやうに染色が施されてないために非常

に清潔な感じがいたします。テーブルは手工なごもその上でするし、食事の折には食卓に使ひますから、ワックス布を真中に張つたものを用ひます。部屋の一隅には、子供が先生の手を借りずに玩具を片付けたり、亦自由に出して使用したりし易い様に、開閉の自由な戸棚をおいてあります。天井からは、ランプが下り、壁には美しい繪がかけられて居ります。陽當りの良い廣い窓には、美しい花がかざられ、カーテンはあたゝかい色で、木工品が棚の上におかれ、その上にさし入る陽光は、子供達の心を軽く撫でゝ、「私の家」「たのしいお部屋」さいふ感じをおこさせると共に幼い時から不知不識の中に趣味をやしなふ方法を三つてをります。

亦一つの部屋には圓テーブルがおかれ、これに十人位の子供がまわりにかけて、保姆を中心に、たのしい家族の様にだんらんします。

遊戯部屋には、木の大小の恩物がおかれられて、こゝで子供達は、思ふ存分構成力をやしなはれるのです。汽車を作る子、大きな建物を組みたてる子、丈夫に出来てゐる玩具はこわれることはありません。

「このやうに幼稚園指導者」は、幼稚園の外観と内容を管理します、彼女は月に一回は巡視するやうに手筈をきめて、

#### 幼稚園巡回に出て居ります。

幼稚園を訪ねて、私共がもつ關心の中心は何と云つても衛生、子供が健康のための清潔意識を、もつか如何かにあるのです、この衛生と健康とは幼稚園に於ける教育の尺度でありまして、獨逸國中の幼稚園にはこの二つの文字が大きく書いてかゝげられてをります。單に清潔とは園内の家具、部屋を掃除するといふばかりでなく、園児達を清潔にするといふことにその中心がおかなければならぬのです。戰時中は殊に家庭にある母親の多くが仕事に出てゐるため、家庭で十分子供達を指導することが出来ませんから、幼稚園としては益々この點に重大な責任があるわけであります。この點を子供達に厳格に教へ、子供達が大人の助けを借りないで、その様にすれば、身體を清潔に保つてゐることが出来るか指導します。此の指導の結果規則的な歯磨き、食事前の手洗ひといふことを、この頃では、さの様に小さい子も自發的に行ふやうになりました。

かうした良習慣をつけるための努力の外、獨逸では、子供達の健康に対する注意として定期的の身體検査を行ひます。これは極く當初のものとしては整列検査といふものでした。即ち子供達を一列に並べておいて醫者が外見を見てまわるのです、その中から顔色の良くない子、元氣のない子、注意の散漫な子などを選び出し、之に適切な方

法を講じます。戦時下食物の變化は、子供達の健康の上にも微妙な影響を及します、或子供にはビタミンが、補給される事、或子供は、移されて田舎の厚生施設に送られる事、凡て醫者との協力の下に萬全の策が講じられるわけであります。

此の外日頃から健康への積極的対策として、各幼稚園で體操遊びにスポーツ其他の動作が重視されてゐることは言を俟ちません。

健康な子供は瞬時も静にしてゐることは出来ません、たゞ動作をくり返して居ります、やがてそれが、體系づけられた體操、スポーツとなり、一人の指導者の指揮の下に、有意的に動くやうになります。その時間を利用して、背筋を真直にするために、四肢を使って這ふ動作とか、扁平足を防ぐために、足指で物體を掴む運動などが盛んにやらせられます。かうした積極的な動きといふものは、子供達に健康の喜を與へるのであります。戦時下に在つては益々健康な身體といふものが國家の要請とまでなつてゐるために、指導者としても之に重點をおいて幼稚園の教育方針を定めてゐるのは當然であります。

次代になふ若き獨逸、そこに吾々の明日の希望があり、吾々の凡ての期待はこゝにそかけられてゐるのでござります。

(松田みみ子譯)

根岸草苗君著

## 「實踐季節保育所」

季節保育所はその必要に於て緊急であると共に、その研究に於て緊急なるものがある。季節保育所に關する從來の著書は少なくないが、その中には、此の運動の初期に於ける手引的のものもある。たゞへば私の小著の如きそれである。今日の發展状態に於ては、それ以上精しい指導書の要求は當然である。

根岸さんは越後金津の村にあつて、此の仕事の實際に當るここと年久しい。その間自ら子供たちに接すると共に、指導的方面の活動をもつづけた。その経験と研究との成果が此の書である。

そこまでも實際的な指導書、懇切周到な指導書として、これを廣く、世に奨めたいと共に、わたしこしては、此の實際的敘述の中に流れてゐる根岸さんの、季節保育所觀、殊に、そのころ、もとに惹かれるものが多いのである。

(東京市牛込區市谷田町山雅堂發行、金參圓五拾錢) (倉橋)

# 冬季戸外での遊ばせ方

東京市市民局公園課 末田ます

子供は風の子外に出てあそべ、さいつてこさら命令しなくても瀬瀬元氣一ぱいではねたりしてあそぶのが眞の子供だと思ふ。此の頃の冬の寒い日にちつゝ家の中に閉ぢこもつて火鉢にかぢりついて居る子供は臆病で友達と遊ばない子供だと思ふ、即ちお山の大將又何時も青白い顔をして僵僂の様なかつこうをして私も皆面白くあそび度いけれど體が思ふ様に動かない、若しも少しでもあそぼうものなら後でせきが出たり又は熱が出てちつとも子供らしくあそべないこの様な子供は眞に氣の毒である。冬になるご處の幼稚園でも屋内のみで指導してゐる又母親も非常にかかる設備を喜んで居る様である。時局認識といひませうか、最近は公園に來ます幼兒達は兵隊さん達を見て自分達もよく外で遊ぼうといふ勇気が見える。東京市では公園數が百八十三ヶ所ありますが主として從來は兒童を中心として遊びを指導して公園をよく利用させることに努めて來ましたが、最近は午前中幼兒が保護者に連れられて來ま

すので日比谷、上野、芝、有栖川、清澄、大塚の六ヶ所で幼兒指導を開始してゐます。午前の九時より十二時迄開催して居ます。此の六ヶ所はそれぐの境遇が異つて特徴があります。又各個所には専門の指導者と助手を派遣して専ら近隣の幼兒を面白く、愉快に安全地である公園で遊ばせて居ります。初めには母親達は虚榮心から戸外指導は設備が簡単で且つ立派な建物がないからあの様な場所へは子供を送られないといふ様な考へ方をする母親もあつた。然し理解あるお母様方は姉も妹も弟もいふ様につづけてよこされたので皆體育的指導文でなく社交、情操の陶冶といふ様に進歩して來るのを見て效果のある事を認識される様になつた事は眞にうれしい事であります。そこで冬になるごとに毎年入數が減じて居ましたが最近は數に於て變りがない、そこで一般の幼稚園でも子供の體位向上につづめられてゐる。寒い日でも屋外に出て元氣に愉快に遊ばせることがすゝめたい。第一には設備と冬にふさはしい温かくなる遊

戯を指導する方法が最も肝要だと思ひます。即ち面白く、活動し丈夫に元氣にさせることであると思ひます。先づ設備ごしましては北風をよけるために圖面に示す様な(三〇頁)三本の「クイ」を立て其處へ三門位の「マク」を張り廻らすのである。そして中央にテーブル一つ周圍に子供用腰掛を設備するのであります。十二月、一月、二月此の期間は寒いのでよく「タキ火」をします。少し落葉をかきあつめて焚ても大變身體が温まります。「マク」がかけてある場所では音楽、お話、紙芝居、人形芝居、手技などをしますが子供の一番すきな遊戯をするときは中央の廣い處でアコードオンに合せて遊びます。公園では幼稚園や託児所の如くオルガンやピアノなきは持運びに不便があるので極簡単な樂器を使用して居ます。其の他の公園では子供を一ヶ所で指導しません。ハイキングごつて木の實を拾ひに行つたり又は日光のよくさす花壇にいつて繪を書かせたり或は野菜の栽培してある畑へ出て芋堀りをしたり其他いろいろの植物についてよく觀察させます。東京の子供は芋がつるについて来るのを始めて見る子供が多いので皆で一つでも引張り出る鬼の首でも取つたかの様にして喜ぶのであります。又小鳥や動物を見ては三つとも面白がる。日比谷に一羽の「オーム」が飼つてあります。が子供達が友達を呼ぶ時嚴ちゃんといふ人氣者の名前を覚えて最近は「いわをちゃん

く」三つて居ります。又朝夕の挨拶の「お早う」、「さようなら」「先生今日は」等澤山をまねて居りますが動物についてもよく觀察することが出来るのであります。公園は自然に對する材料が豊富にありますので子供達は文化的資材に恵まれて居ります。次に温くなる遊戯を御紹介しますが参考になれば幸ひであります。現時局下愈々人的資源を確保しなければならない時皆様の御子様を丈夫にお國に役立つ人間に育て上げたいと願ひます。

### 一、あついボール

用意 ボール一個

方法 圓陣を畫いて並ぶボールを手で

地面の上を轉がして

反対側の人へ送る。

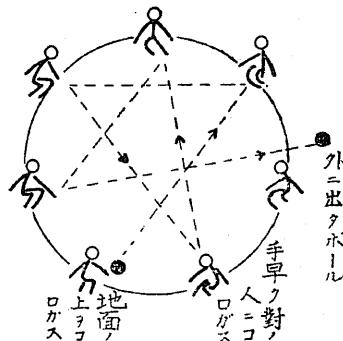
出来るだけ早くする

事、ボールが外に出たら終り又始めから

する。この遊びのボ

ールは三つともあつ

いボールであるから長い間持つて居ては火傷をしてしまうが飼つてあります。が子供達が友達を呼ぶ時嚴ちゃんといふ人氣者の名前を覚えて最近は「いわをちゃん



面白い。(先にボールを圓陣外に出した組が負)

注意 1、同じ子供ばかりボールを使はぬ様にする

2、敏速に動作をさせる

## 二、飛びっこ遊び

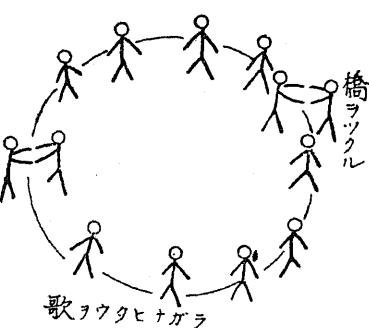
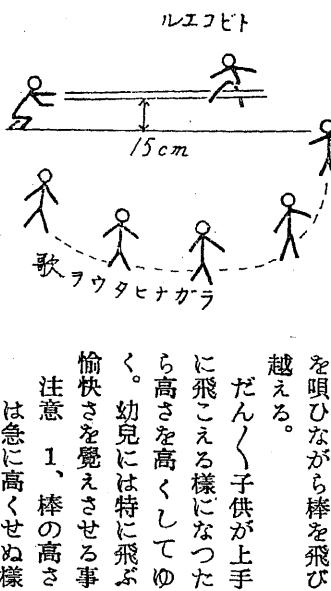
用意 一米位の細い棒一本

方法 指導者は棒を地面より十五センチ米位の高さに支

え、子供は先頭より歌

を唄ひながら棒を飛び

越える。



(橋)を作る。圓の人

は皆此橋の下をくぐ

り通ること、合図ご

共にこの橋を落し丁

度この下を通過して

居る人をつかまえ

る。圓の人も合図が

あつたら止ること。

この橋を落されて捕

つた人は中央に出て

落された人同志二人

になり圓の他の部に橋を作る、圓の人は總ての橋の下

を通ること。だんく橋を増して少數が残るまで続ける。

圓の人気が走りくぐる時、音樂か或はさくらー等の歌を唄

ふき良い、軍歌も結構だと思ふ。

注意 1、橋の下を通るとき、つい前人の肩腰に手を

置きたがるが一人が轉んだ時危い故一人一人

で走らせるこ

2、あまり小さい子供ばかりの時は手を全部が繋

いでも良い、但し運動は束縛される恐れがあ

る

## 三、橋落し

用意 箕或は太鼓、人數により適宜の圓陣を畫く

方法 全體で圓を作る、一部に二人が手を繋ぎトンネル

落すこゝにしても良い、感覺の練習になる

#### 四、呼び出しボール

用意

年齢に適したボール一個

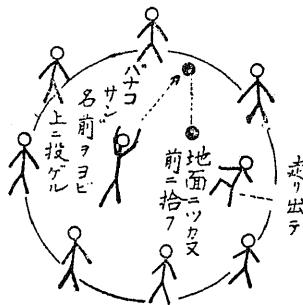
方法 圓陣書き並ぶ。鬼を一人出す。鬼はボールを持ち圓

の中央に立つ。そし

て圓の人の誰かの名前を大聲で呼び同

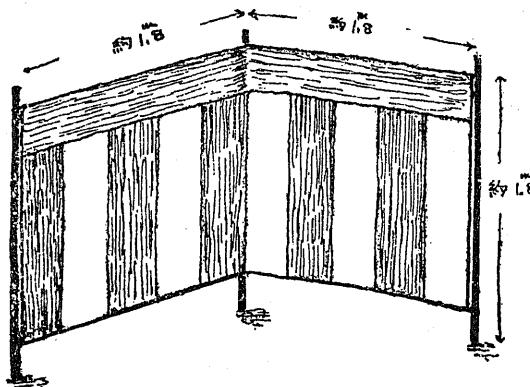
時にボールを空に投げ上げる。名前を呼ばれた人はすぐ飛び出でてそのボールを拾ふ。ボールが一度

地面につかぬ前に取る事が出来たら鬼はもう一度する。ボール



注意  
1、同じ人のみ名前が呼ばれぬ様に全部が飛び出人を取れなかつたらこゝはその人が鬼になり前の人と同じ事をする。

2、上手になつたら圓の大きさを廣くする。  
る機會を作る



教養座

# 萬葉に於て日本的感情を見る (二)

東京女子高等師範學校教授

石井庄司

子さもの好きな越後の良寛さまのこゝは、子さも黨の皆様にはすでにお馴染深いこゝ存じます。

霞立つ長き春日に子さもらさ手越つきつゝ今日も暮しそうさもらさ手越つきつゝ此の里に遊ぶ春日は暮れすごもしよし

かういふ良寛さまの歌は日頃皆様の御愛誦のものと思はれます。良寛歌集の中には、實に尊い子さもの生活が數々詠みあげられてゐます。これはさうしても子さも黨の皆様の味方であります。

この良寛さまは熱心な萬葉集の愛讀者でありました。良寛さまの歌の善さは、結局萬葉集をよく讀まないさわかりません。そこで今度は皆様に、萬葉集の愛讀者になつていただきたく、少しばかり萬葉集のお話をいたしませう。

めたものかといふこゝが、わかりません。昔から實に多くの學者たちが研究に研究を重ねて來られたのですが、今日まだはつきりいたしません。極大體は、奈良時代の終り頃に、大伴家持やからぢか又はこの大伴家の一族に關係の深い誰かだれか編みおいたもので、今日は二十卷残つてゐるといふ位しか言ふ事ができません。

今日傳はつてきてゐる二十卷の萬葉集には、長歌、短歌、旋頭歌といふ色々の歌の體があつて、その歌の數は合計約四千五百首といふこゝになつてゐます。歌の數は、據りざころを異にする書物によりまた數へ方により少しづゝ違つてきますが、まづ四千五百首といふわけであります。

その四千五百首ばかりのうちで、歌の詠まれた事情やまた年代のわかつてゐるものだけに就いて調べてみますと、時代の古いこゝろでは仁德天皇様の皇后磐姬いはのひめ申す方の御歌があり、新しいこゝろでは淳仁天皇様の天平寶字三年正月に大伴家持が因幡の國で詠んだ歌があります。其の他、

萬葉集は古い歌の集であることは先刻御承知の通りであります。それでは一體いつごろのものかと申しますと、ちよつと面倒であります。まづ萬葉集は何時の世に誰が輯

## 一、わらべ心

歌の詠まれた事情の分らないものも多數あります、まづこの時代のものと思はれます。

さて仁徳天皇様の時代から淳仁天皇様の時代までは凡そ四百五十年間にあたりますが、四千五百首の歌が、四百五十年間に平均して散在してゐるかといふに、さうではなく、舒明天皇様の時代から淳仁天皇様にいたるまでのものが最も多いといはれてゐます。

紀元二千六百二年の悠久な歴史を一本の線で書き現はすございます。するご、その半分のところは千三百一年になりますが、いまから満千三百一年前はちょうど舒明天皇様の崩御遊ばされた年になります。仁徳天皇様の御即位の年は紀元九百七十三年ですから、舒明天皇様の時代から約三百三十年前となり、淳仁天皇様の時代までは百十餘年になります。普通に云はれる萬葉時代は、二千六百二年のちやうさ半分位の時代の前後四百五十年間を申すわけで、神武天皇様のお話からするごずつご新しいことになります。けれども西洋の歴史で申しますご、今日の米國は申すまでもなく英國も獨逸も佛蘭西もなかつた時で、紀元千三百一年は東ローマ帝國のコンスタンチヌス三世の時代であり、その翌年には、サラセン人がペルシャ軍を破つて、遂にペルシャ國の亡んだ年、支那では唐の太宗の時代になります。かう考へるご、また萬葉時代は大昔の話ごもなります。

その萬葉集の歌が、殆ど今日のまゝの言葉であり、誰にでも理解できぬごいふことは、全くあらがたい國柄のお蔭であります。かういふことは、世界の如何なる國家にも存在しない事實であります。

ヒサカタノアメノカグヤマコノユフベカスミタナビクハ  
ルタツラシモ

といふ萬葉集の一首を新年の書初ごして、やつこ片假名の書ける幼稚園通ひの子さもに書かせてみたごことがあります、するご、その子さもはすぐこの歌を暗誦いたしまして、度々口ずさんで居りました。またそれを繪に描き現はしました。大人の吾々が考へるよりも、子さもの素直な心にはよく理解されるものだといふことを経験いたしましたつぐぐご感じ入つたごでした。日本國民であります國語を話す人である以上は、萬葉集はあなたにもわかるものと思はれます。さうか奮つて萬葉集をお読み下さいまして、その愛好者になつて戴きたいものご思ひます。

ひまかたあめかくす  
久方の天の香具山この夕霞たなびく春立つらしも

〔卷十、一八一二〕

さきほぢ片假名で書きました歌です。卷十の最初にある歌で、春の雑歌ごなつてゐます。卷十は全部作者のわからぬ歌で、詠まれた時代もはつきりいたしませんが、大體奈

良に都を遷された頃のものとされてゐます。しかしこの歌は、大和三山の一である香具山のことを詠んでゐるのでありますから、まだ都が藤原宮にあつた頃のものかとも考へられます。凡そ千二百六・七十年前のものでせう。

「久方の」は小倉百人一首なさでよく御存じの言葉で、「久方の天」とか「久方の月」とか「久方の雲」などとも續く枕詞で、文字は、この外に「久堅の」とも書きます。そこで天は久しく堅くいつまでも變らないといふ意味で附けたとも申します。しかし枕詞の意味に就いてはまだ權威ある説があります。この歌では、「久方の天の香具山」と續きます、誦んでみて何となくのきかな感がいたしませう。

天の香具山は、今も櫛原神宮の東の方に低く見える山で、畝傍山・耳梨山と相對して、ちやうと三角形になつてゐます。伊豫國風土記によります、「この山はもと天上にあつたのですが、それがさうしたところから天から降つてきて、二つに分れ、片端は大和國に天降り、片端は四國の伊豫國に天降つた」といふことであります。それで「天降りつく天の香具山」といふやうな言葉もあります。如何にも天降のできた山らしく、なつかしくよい山で、萬葉集にも度々出てきます。中でも舒明天皇様がこの山にお登りになつて大和の國を御覽になつた歌は、有名であります。小學國語讀本卷十二にも出てゐます。その御製には、

### 大和には群山あれど さりよろふ天の香具山……

さりよろふ天の香具山ですが、特に意味を強めるために、また自分の感情を出すために云つたものであります。「春立つらしも」の「も」は感動の助詞。「春が立つらしいよ」、もう春になつたよといふやうな心持であります。

そこで一首の大體の意味は、久方の天の香具山にこの夕方霞がたなびいてゐる。あゝもう春が立つらしいよといふことであります。

この歌は、或夕方に天の香具山に霞のたなびくのを望み見て、そこで春の到来に驚いてゐるのであります。暦の上の春から、觀念的に山の景色を眺めて、それを歌に詠むといふのは違つて居ります。まづ初めに、子さものやうな無邪氣な態度で山にむかひ、その山の景色の昨日と違つ

てゐることに氣づき、そこから暦の上の春に氣がつくことふ行き方であります。卒直な心、純粹な感情、しかもわづかな變化にもびりつゝ感ずるやさしい心を持ち、なほその上に大膽に卒直に自己の感懷をさらけだすといふ力を所有するものでなければ歌へないものであります。こんなことを言つたら笑はれるだらうかごか、うんこすればらしい歌を作つて人をあつゝ言はせてやらうかごか、右顧左盼をする

といふこともなく、全く何のたぐらみもけんもない、真正銘のごころであります。それが萬葉集の歌の特色でありまして、千年のもとをさな児にも何かしら心よいものを與へるのだと思ひます。紀元一千六百二年の新年にあたつて、私は大きな聲でこの歌を誦してみたいと思ひます。「春立つらしも、春立つらしも」、いざゆかん、諸共に……。

それで歌もなんこなく儀式的の型にはまつたものであります。が家持の作品として普通の出来榮こ申すべく、新年の氣持はあらはれてゐます。

一首の意味は、新しい年のはじめの春の今日降る雪のやうに愈々よい事が澤山來てくれるやうにいふのであります。雪の多い年は豊作だと申しますから、めでたい氣がしましたのであります。またしんしんと降りしきる雪の中に多くのお役人の集つた光景は、草深い山陰の一部邑ではめづらしいこゝであつたのでせう。なほ雪がしきりに降ること、吉い事が次から次へと繁く訪れるといふのことはよい連想であると思ひます。この歌は昭和十七年からはちやうさ一千八十四年前の作品といふこゝになります。(つづく)

新しき年のはじめの初春の今日降る雪のいや重け吉事。

[卷二十ノ四五—六]

これは前にも申しました通り、萬葉集の歌の年代の分つてゐるものとしては一番新しい歌で、淳仁天皇様の天平寶字三年に因幡守であつた大伴家持が、國司の館に郡司なごを集めて新年の宴會を開いたとき詠んだものであります。

# 節 分

——誘導保育の主題——

附属幼稚園 志 村 貞 子

輝かしい紀元二千六百二年の新春を迎へました。戦捷の新年を心から慶祝すると共に、今後の如何なる苦難にも必ず打勝たうとの覺悟を、更に一層新たにするさきでござります。

けれども幸福な我が國の幼兒たちにさつては、このお正月も、一つお歳が多くなつた嬉しいさきであり、廻上げに、双六に、かるたに興じた楽しい毎日であつたこでせう。

間もなく幼稚園が始まる、「先生、おめでたう」「おめでたうございます」と溢れるばかりの元氣さで、にこく顔で、さびついてくる子供たちは、先づ僕の、私の、楽しいお正月のお話をきかせてくれることでせう。

このお正月のお話から、一月、二月といふ月の數へ方、春夏秋冬の季節のうつりかはり、年中行事の話等、子供の持つてゐる知識や経験を引き出してやりながら、足りないところは補つて、上手にはなしをすゝめてゆけば、いろいろ面白い方面に誘導發展させてゆけるのではないかと思ひます。こゝにその一つとして節分を主題として取り上げ

てみました。もうより経験浅き私の一試案に過ぎません。皆様の御高評を賜はれば幸甚に存じます。

はなしをひ。楽しいお正月のお話から、「今は一月、一月はお正月ね。お歳が一つ多くなつて、みんなお兄様、お姉様になつたのね。では一月の次は何月でせう?さう、二月ですね。二月には何があるかしら?、豆撒きがあるでせう。皆さん、豆撒きをなさつたこあるでせう。」「あら、「さう、○子ちゃんは?」「お兄様」、「さう、お兄様が撒くのね。何ていつて撒くの?」「福は内、鬼は外つて。」「さうね?」「それからお豆をたべるの。お歳の數だけつかめればいいんでせう。」「キヤラメルもまぜて撒いた」等々、上手に、きいてやりながら、子供達の経験した豆撒きを話させてみたいものです。それから、先生が、節分と立春について、簡単に、わかる程度に話して聞せるのもいゝでせう。また何故「福は内、鬼は外」といつて炒豆を撒くのかを昔からの民謡によつて話しても喜ぶこでせう。また先生が豆撒きの可愛い、おはなしを創作してきかせれば、な

ほ大喜びでせう。

かうして、はなしあひやお話のうちに、子供達の節分、豆撒きへの興味をよびおこして來たいものです。さうして、「もうすぐ豆撒きの日がくるわね。先生、幼稚園でもお豆撒

かないの。撒きませうよ、撒きませうよ」等といひ出せば、その機會を捉らへてすぐ、節分の用意にさりかゝります。

お面。(福の神・鬼)お面といつても額にあてゝ、テープを後頭部に廻して結ぶ、いはゞ前だけの冠の様な形のがよいと思ひます。形は子供達の自由な創作にまかせたいと思ひますが、難しければ、福の神は、福笑ひのおかめさんの顔、それに鬼の顔を、輪廓だけ、或は目鼻も入れて、贋寫刷にしておき、色を塗れます。切抜いて、左右に適當な長さの紙テープをはれば出來上ります。

補。模造紙、又は有合せの、なるべく丈夫な紙を用ひます。子供達の標準身長に合せて肩衣・袴を一揃つくりませう。縫つたり、貼つたりして、繪具で彩色して出來上ります。これは大體先生の仕事ですが、彩色の時などには子供達にも手傳はせませう。

お豆。時節柄、手に入りにくいと思ひます。丁度、幼稚園のお庭にまいだ落花生から、かなりの収穫がありました

のでこれを用ひるのもよいと思ひます。お豆でなくとも衛生ボーロなどのお菓子でもさ思ひますが、これもむ

づかしいでせう。何かよい御心づきはござりませんか。豆入袋。縦九禮、横約七禮位の袋をつくり、豆撒きに因んだ模様をつけ、各自の名前三歳も書いておきませう。五合糸を用意します。これで用意が出来ました。

節分の當日には年男をきめて、豆撒きをします。組のお部屋、幼稚園のお玄關、先生方のお部屋、他の組のお部屋、お遊戯室の方々に撒きたいものです。年男は洋服の上から桂をつけて、桟をかゝへて、大きな聲で、はつきり「福は内、鬼は外」をいふのです。撒く場所毎に年男をかへれば、多勢の子供が年男になれます。女の子でもかまひません。年男以外の子供は半數づゝ福の神・鬼になつて、それく、作つたお面をかぶります。豆を撒く場所には、はじめ鬼だけがるます。そして、年男の聲で豆に追はれて、逃げ出したところへ、入れかはりに福の神が「おめでたうございます」といひながら、入つて來るのです。年男が代る時に、福の神・鬼も代る方がよいでせう。これを各部屋毎に繰返すのですが、子供たちは飽きることなく喜んで致します。

豆撒きが済みましたら、歳の數だけお豆をいたゞいて袋に入れます。

少し前からの、簡単な準備で節分當日の豆撒きによつて、子供たちの心を、生活を、どんなに豊かなものにすることが出来るこ思ひます。

# 團體遊びの一つ二つ

附属幼稚園 古澤 静子

◆お人形の競走  
準備、二人づゝ組んで分れる。

二人の中の一人が、お人形になり、目を閉じ膝を伸ばして踵で立つ。

他の一人は、その後に立ち、お人形の両肩に手をかける。室の中に椅子、或は机の様な障碍物を置く。

遊び方 「用意」の合図で各組共、出發線に勢揃ひし「始め」の合図に依り、お人形の後を押しながら障碍物を廻つて来る競争である。お人形は、常に目を閉じて踵で歩き、

(出来るだけ早く歩く) 後を押す人は、上手に入形を歩かせなければならない。

二人は時々交代する。

◆子ぶやし鬼

何人でも結構ですが、成るべく多人數がよいと思ひます。鬼を一人定め、他の人々は自由に逃げてゐる。最初に捕つた者は、鬼と手をつなぎ、二人の鬼になつて他の者を

追ふ。次に捕つた者も、同様その二人と手をつなぎ、三人の鬼が出来る。次に四人目が捕る(三)、之等の四人は、二人づゝ二組に分れる。即ち二人で手をつないだ鬼が二組出来たことになる。

各二組の鬼は、一人捕へて三人になり、次に又一人捕へて四人になつた時、前と同様二つに分れて二組の鬼になると。これを續け四人になる毎に二つに分れながら、二人一組の鬼が、次第にふえて来る鬼ごっこである。

この様にして、皆が捕つて鬼になるまで繼續する。

◆三人組んで

準備 三人を一組として分れ、各三人は、かりに、(イ)(ロ)(ハ)の番号をつける。

全組中(イ)は集つて一列縱隊に並び、次に(ロ)が同様一列縱隊に並び、(ハ)もその横に一列縱隊に並ぶ。即ち(ロ)番を中心として(イ)(ロ)(ハ)の三列縱隊を作る。中心(ロ)より、左右等距離に横の線を引く。(ロ)は兩手

を横に擧げ、(イ)(ハ)は(ロ)の左右に立つて、(ロ)の手に、つかまつてゐる。

### 遊び方

「その一」これは全體に關係なく、各組に於て(イ)(ハ)の個人競争であり、(ロ)がその審判をする。合圖に依り、(イ)(ハ)とは、其處から各自の側にある横線の處まで走り、横線について元の場所に戻り(ロ)の手に觸る。例へば五回、乃至十回と云ふ場合に、走る回数を定めておき、その回数だけ、早く廻つて最後に又(ロ)の手を持つのである。

早く済んだ方を勝にする。  
後、位置交換を行ふ。

「その二」各三人一組を一單位として、全體の組の競争である。「その二」と大體同じであるが、更に中央の(ロ)を廻るのである。即ち(イ)(ハ)は、右廻りで(ロ)の廻りを廻り、「その二」と同様、横線まで走つて、横線を踏み、再び戻つて、又(ロ)の廻りを廻る。これも、定められた回数だけ早く廻り、最後に(イ)(ハ)は、手をつないで(ロ)を圍むのである。従つて、(イ)(ハ)は、成るべく早く廻り終つて、最後の形を作る様、協力しなければならない。この様にして、おしまひの圍みが、早く出來た組を勝とする。

「その二」これも、各一組を一單位として、競争する。

(イ)は(ロ)と同方向を向き、(ハ)は(ロ)と反対の方向を向く。合圖により(イ)(ハ)は、前にある者の後を追ひ、右廻りで、(ロ)の列を廻る。前と同様、三回或ひは五回位廻る回数を定め、成るべく早く廻り終つて最初の位置につき、「その二」の様に、(イ)(ハ)は手をつないで(ロ)を囲むのである。(イ)(ハ)は協力して早く囲んだ組を勝とする。後、位置を交換する。

### ◆廻旋競争

準備、赤白二組に分れ、各組向ひ合ひで、一列縱隊に並ぶ。向き合つた二組の先頭の間に、中央の目標を立て、各組の終りにも、目標になる物を置く。各組は、先頭より一、二、三、四、五、六……の番號をつける。

遊び方 合圖に依り、赤、白の最後の者は、その列の右を通り、向ふの列の左を過ぎ、その後の目標となつてゐる障碍物を廻り、又その列の右側を通り、自分の列の左側より後の障碍物を廻つて走り、最初の位置に戻つて自分の前の者にバトンを渡して、その列の最前に並ぶ。つまり、味方及、相手の列を一廻りして、元の位置でバトンを渡し、更に進んで、その列の最前に並ぶのである。バトンを受けた者は、同様にして、次の者にバトンを渡し、順に、前の方に並ぶ。

この様にして、早く最初の隊形に戻り得た組が勝となる。

各地幼稚園  
園だより

# 青森・熊本

青森幼稚園保母

今さよ

## 青森幼稚園

幼兒教育十七年度の、各地幼稚園だよりの第一番目掲載となりしにより不束ながら、それでは吾園施設の根本から申し上げることに致します。

創立は、畏くも明治の御代四十二年九月、先帝陛下皇太子殿下におはせし御時、當市に行啓の記念事業として當市に初の幼稚園を三婦人十二名發起創立に係るもの、社團法人、私立青森幼稚園、園児定員百二十名、保姆四名、保育料は金壹圓五十錢であります。敷地約五百坪、園舎の建坪百五十坪、所在地は青森市浦町であります。

幼兒教育は家庭教育の一部と見做すべきもの

形式は學校に似て居ても、内容は家庭に屬するものと心得ます。故に吾が神國に生をうけたる者は家庭には皇祖天照皇大神様を奉齋すべきであるから、幼稚園内にも其のやうにすべきであると心得まして、畏くも先帝御即位御記念として即ち大正四年十一月十日普通の神棚式のものではなく御神殿をしつらひ、奉安式を舉げました。



図の蘭  
き

のみならず諸般の善行天事に親しみ且つ實行に勉めましたが、大正七年二月には其名をしんぜん會と名づけました。

中央からも幼兒教育の權威著として知らるゝ岸邊先生、久留島先生、報徳實踐の篤行家花大人からも數度のお講話を聽かせていました。

### 植田

かゝる精神的の會合は實行の困難を伴ふものですが、如何なる難關があらうとも繼續しやうとの決意の下にしたのであります。幾十年を経過したる後の今日に於てさして困難を覚えずいつも麗はしき會合として一般から期待されるに至りましたことは誠に有難き社會の感謝いたして居ります。

### 月例祭と幼兒誕生祭

御神前には毎日御饌米と御神水をお供へ申して幼兒登園すれば各自禮拜しますが、毎月一回の月例祭には其月に生れたる幼兒の幾人でも其日に纏めてお誕生のお禮のお祭をも含せ行ひます。お母さん達の月一回のお集りも此の日にいたします。尤其つきの中に何か行事のある日は、雛祭、端午祭、藤祭り（庭に幾十坪の白藤紫藤の棚があり）棚織祭（舊七月七日）創立記念日、等に當つた日は會日を其日に變更いたします。而してかかる行事の日には市内出征軍人遣



且成人の修養に俟たねばならぬとの謂から、其月の十七日（大嘗祭の日）から會合をはじめ毎月一回お伊勢様の御月次祭なる十七日を會合の日と定め、名士を招聘して幼兒教育同時に敬神尊皇報國の精神振起せしむるの目的の外、幼兒教育に效果をあらしめるには家庭と社會との連絡を計り

ます。お祭りは私が奉仕します。態々祭官をたのんだり等

するには應はしくありません。吾が國は神國なる故にかゝる事は各自はなすべきであるのに、物代り星移りして何時しか忘れてしまつたので不思得他から依頼するのであります。

お供へ物は園の方で準備した物の他に、園児のお母さんから心をこめたお供へ物をする向きもあります（弊書をもなる向等聊もありせん）お誕生に當つた幼児はお神前の壇上に並び喜々として呼ばるゝまゝに八雲の彈琴に合せて小さなお玉串を奉呈します。

お祭りは終へるご直會をします。お母さんも子供も一つしよに、更に幼児にはお下りのお菓子等を配り、お母さん達には何か二ヶ月間のここにつき懇話をします。幼児達は自分のお母さん達もお参りすることを大そう悦びます。年を経るにしたがひ、曾て保育をうけた幼児は親となり、其子は同じ幼稚園に通つて來るのは澤山あります。有り難いここには何事をするにも當方の思惑を立てるのに困難が少くあります。これも同時に嬉しく思うのは、幼児期に於けるあんな子はこんなに又よくあんなつた等昔時を追憶しては其家庭教育や自分自ら保育の反省をして其方針に聊かでも安定を見出しきを得たのは、自分でして幾十年間同じ此の持場に置いて下さつた凡ての大きなお力の賜を只管に感謝するのであります。

#### 皇道に則つた保育

昨年の春皇紀二千六百年春祝全國保育大會を櫻原神宮御前に開催せられたる際、講師日田權一先生から皇國の幼児として保育の重大なことを拜聴しましたが、自分は深く意を強くしたものがありました。丁度私の席の傍に大阪毎日新聞社の社會部長西村先生の居らるゝまゝにお話し合つて、自分の實施し來りしことにつき出稿せよとのことでありましたが遂に用事に追はれ心ならずも其意を果さず居りました。日田先生の仰せにも全國の幼稚園は餘りにも區々なる保育をして居らるゝ。一體何を大目標として居るのか、學齡前の國家として大切な保育を累々述べられ、私は一言半句も洩らさじて拜聴して居ましたが、或る一人の保姆さんは不謹慎にも先生の似顔の漫畫を書いて居らるゝには呆れて涙が出ました。歸國後其園の方に聞けば全くそんな權威のお話のあつたことは報告しなかつたこのことであります。何の爲出張したものか、まことに遺憾なことです。國家の爲不都合な保育をなす園がありこそば此際お互協力して得心の行くやう取計はなければならぬのではないかと思はされました。

幼児は幼児期のみで終りきするものでない限り、日先生先きのみに目を注ぎ、利口にし賢き子供なき親御を悦ばせやうごし紙細工の一つを知つたてよろこび、珍らしい

唱歌や遊戯を覚えたてこよなき樂しみをするお母さん、之等を以て唯一の保育だ心得る人があつたなら、大變な間違ひだと思ひます。最近の知人の話に「あの幼稚園は毎日新らしい遊戯を教へるのは専門だから家庭では皆よろこんでる云々」幼児の教育はそんなく淺薄なものでせうか、

此の幼兒期、此の時を失つては一生其時が與へられない大切なく其時期の生活をさすべきで、そして學校でも出来ず家庭でも出來得ぬことをさせるのは抑々幼稚園の目的である心得ます。色紙摺みや、唱歌、遊戯の下手は後で補ふことは幾らも出来ます。而して又子供は子供らしさを尊ぶことは誰も同じではあります、私から云はせるご極めて平凡な子供を望みます。故に平凡に育てるこ心を心がけて居ます。人目を引かぬこも宜しい、却つて其れが幸福であるこ信じます。子供らしい子供はやがては大人らしい立派な大人になるんだ信するからであります。

繰り返して申しますが成長の後立派な大人になつてお國のお役に立つべき小國民幼兒期であります。區々たる勝手な教育を施してざうして一貫した大和魂の持主となることが出來ませうか

最後に吾園にしてして居ることの寫眞敷葉に就ての説明

を申し上げます。(内、掲載は田植と蘭搗きの二)

一 田植ゑ 庭に一坪位の水田を作り屋外水道によつて手

や足を洗つた流れを以てし、六月中旬頃、私が植ゑます。稻の穫り 四ヶ月を経て稔ります。一本／＼幼児に鉢にてはさみ取らす。

一 お米の殻むき 一穂を屈たくせぬ程度にむいて貰ひます。お米のなりたちを心に印さず爲め 神嘗祭 丁度お米が穫ります、園内に奉齋の大御神様に初穂を獻じ御祭を行ひ他のお米に加へてお赤飯を作りお供へし 一同いたゞきます。

一 お薯堀り 馬鈴薯を幼児に手傳はせて植ゑ、出來た時は跳になりお尻を倦つて、此處にも／＼お薯／＼豆のやうなのをも見逃さず拾つて來てくれる。其他種々の野菜を植ゑて幼児に觀察させ又食べさせます。毎日裏廻りしては樂しみに觀て居ります。

月々のお祭りにもお野菜は裏畠の物をお供へします。蠶、一本の桑の木を植ゑおき、一蛾或は二蛾分の蠶を養ひますが幼児にて出來得る事は手傳つて貰ひます。一昨年までは出來た蘭を糸に繰つたり真綿にしたりして觀せましたが、昨年からは満洲青少年義勇軍に贈る真綿の短衣にて依托の下に、養蠶してゐます。

もう一つ附け加へて申し述べ度い事は當市に保育協會

が組織されましたが、市の文化聯盟支部と共に主催で去る十一月二十八日お母さん學校大會の發會式を擧げましたが私に課せられたのは右の題であります。有り難いこには、私は物の不足でない時から、自然物を愛し利用し、又捨てて顧みない物品を生かして使ふことに興味を持つてゐましたが、幼兒も亦自然を愛し好みまして之等には大人も及ばざる創造工夫を致します、定つた物資は不足であつても野にも山にも海にも自然の物資は豊富にありますので不足を補ふのに相應はしく、又幼兒には天地自然に感謝の氣持を深からしむる點から一しほ有效だと思ひます、同時に人の資源を補ふのにも徒らに大人じみたことを教るに前

に、子供自身の身の廻りのことで少しく訓練を要することですが出來得ることにはさせます。中々出来るものです。又幼兒は大人のお仕事を隨分手傳ひたがります。子供の生活としては單に遊ぶ申しますが區別がありません。大人が假にかかる小面倒臭いことを案外やつて呉れますが、結果は大人のしたことも子供のした事も違はずものがあります。幼兒は之によりてお手傳が出來たて却つて満足をしてゐます。これから人は下から、たゞき上げた人でなければいけなくなる。嬢や坊やの一點張りではいけない時代になつたと思ひます。大層長くなつてすみませんでした。

## 熊本幼稚園

熊本市立熊本幼稚園 高島くに

### 保育料

貳圓參拾錢

熊本市立熊本幼稚園は熊本市の中央商店街で交通も極く便利な處にあります。幸ひ環境は電氣會社、財務局など大きな建物がありまして静かであります。明治二十年七月創立し、昭和十二年三月改築諸般の設備も改修されました。

百十名

慶徳國民學校長兼任杉山秀生

園長  
保母  
五名

組の編制は四組としまして、年齢によつて分けてゐます。保育細目は熊本市教育會保育部編纂のものを基として保育案を作成し、幼兒の生活をうまく誘導して行かれる様、心の準備をいたしてゐます。自由遊びに對しましても、勿論用意を以て迎へ、その内容が豊かになる様心掛けてゐます。次に毎日遊んでゐます有様の一端を申し上げます。

登園時 園の門側小山の上にお地蔵様を安置してゐます

ので、登園します直ちにお詣りをします。保姆は園庭にて子供を迎へてゐます。帽子なき携帶品を所定の場所に置き、お天氣のいゝ日は、ハタシで遊んでゐます。お砂場や、ブランコ、花壇の手入のお手傳ひ、花鉢に水やり、お庭のお掃除なぎいたします。日あたりのよい廊下では繪本や積木、まゝご遊びが行はれます。

朝のお集り 一所に集つて静かにいたします。

宮城遙拜、黙禱、天皇陛下は尊いお方の唱歌、幼稚園の歌を歌ひ、それから、皆様お早う御座います挨拶をいたします。

お話し(時局のお話し)、今日のお約束(笑つて遊ぶ事、仲よくするこゝなぎ約束します)

ラジオ體操、幼兒體操をやりましてから各組に分れてそれなり遊びにうつります。

月の一日、十五日には朝のお集りの時、國旗掲揚をなし、神社參拜をいたしてゐます。

園外保育 全幼兒一緒に出かける時、各組で出かける時あります。なるべく數多く度々出かけては新鮮な空氣

ごとに浴せしめてゐます。れんげ草つみ、田植見物、バッタ捕、落葉拾ひ、芋堀り等郊外に出ます外、神社、學校、デパート、展覽會、市場、動物園なぎにも行きまして種々

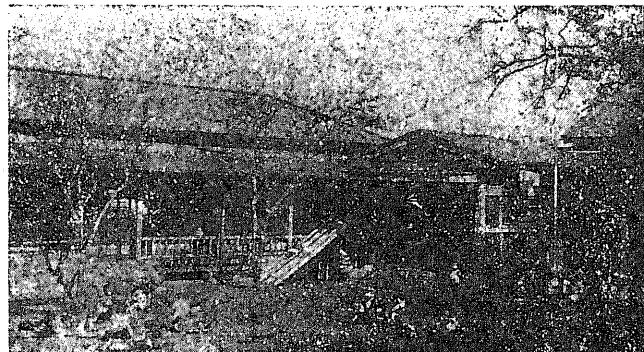
観察をいたします。

遊びについて 園外保育で觀察しました事や採取して來たもので種々の製作が出来、描き方も出来て愉快で御座ります。又豫定してゐる主題によつて何を作らせ度いゝとの目的を以て製作します時、子供の遊びの發展から種々なものがそれからくゞ製作される時あります。いつれも子供が興味を以ていたします様努めています。例へば、熊本市の氏神様藤崎八幡宮大祭を主題します、描き方で、おみゆきについての表現をいたします。又、飾馬、馬の首、獅子舞、長旗なぎの製作も出来ます。

戦地の兵隊さんに差上げる慰問袋を作らうと計畫しましたら、子供が家庭から一品宛持ちよりまして共同で慰問のお畫を一生懸命で描き、又玩具なぎいろんなものを作つて入れました。動物園や果物屋、玩具屋なぎの遊びの時には次から次に種々なものが作られます。

園庭では兵隊遊びをなしつゝ團體的歩行訓練を行つてゐますが男兒も女兒も一所にレコードに合せてやります。

日々たばつことをしては子供達の間によくお話しが交されます。保姆も共に加はつてお話しの會をやります。こんな時には主に郷土のお話しをいたします。雨の降る日やお寒い



こつご隊兵 び遊庭園

時には紙芝居、人形芝居をやりますが、保母達も大部分上手になります。

天皇陛下 皇后陛下 お父う様 お母あ様  
御かけで、今日も御飯がおいしくいただけます、兵隊さん有難う、よくかんで頂きます。ご感謝の心で申しまして箸をさります。保母も一所にお食事をいたしまして、よくかみ研究し、つゝ書きたり創作したりしてゐるまます。

中食は 禁養食給 與 昭和  
は一食八錢死家庭の出費であります。毎週獻立表を配布して家族との連絡をとり、一週分乃至一ヶ月分宛徵收してゐます。お晝になりますと、當番の子供はお掃除の御手傳をします。外の子供は手を洗つて待つてゐます。配給車にて各室に運ばれます。それぐ分配しお食事の用意が出来ます。

手になりました。その材料も研究し、つゝ書きたり創作したりしてゐるまます。

献立は市保育會で作成し縣養育技術に批判を乞ひ、園醫から實施の有様を檢閱指導してもらつて行つてゐます。経費

は一食八錢死家庭の出費であります。毎週獻立表を配布して家族との連絡をとり、一週分乃至一ヶ月分宛徵收してゐます。お晝になりますと、當番の子供はお掃除の御手傳をします。外の子供は手を洗つて待つてゐます。配給車にて各室に運ばれます。それぐ分配しお食事の用意が出来ます。

手分けをして危険のない所まで送ります。

特殊行事の一つ二つを申します。

毎月十五日に誕生會をやりまして其の月に生れた子供を祝ひます。誕生の月に當つた子供を先頭に神様にお詣りをして、おはらひを受け、玉串を捧げます。歸りましてから皆



芋堀り

一所に集つて誕生會の唱歌を歌ひ、お目出度うご祝詞を述べ誕生の子供は、有難うご答禮をします。

それから唱歌遊戯なご交互通にやりまして保母も偉人のお話ををする事にしてゐます。中食にお馳走をして會食をやります。お土産に幼兒達の製作したものを贈ります。二十四日にはお地藏様のお祭りをして子供の健康を祈ります。

園庭にて慶徳校一年生の運動會をやり父兄母姉も招いて秋のうらゝかな一日を楽しく過します。

市立六つの幼稚園が聯合しまして招魂社境内に大運動會を催しますのを毎年の行事としてゐますが、支那事變が起りまして以來、白衣の勇士を招待して慰問をなしてゐます。又申し合せまして夏休み中、子供のお小遣を貯蓄させまして獻金してゐましたが、本年は招魂社に石燈籠一對を獻納しまして英靈を慰めました。

母姉の方からは當園の後援會を設立していろいろ援助されてゐます。園児と共に郊外の遠足は一つの行事になつてゐますので春は黒石原種蓄場、水前寺動物園、潮干狩、夏豆ちぎり等、秋は芋堀り、ジユズ玉採收、みかん見等、楽しい中に親睦をはかり大人も子供も共に體位の向上に努めてゐます。

尙熊本は南國の暖かい所で阿蘇山、熊本城、本妙寺なご名所も御座いますので何卒御出かけ下さいませ。

# 兒童心理學

第一講

## 親と子の問題（二）

牛島義友

### はしがき

今度兒童心理學に就いて講座風に書く様にとの依頼を受けました。が、數年前にも二十數回に亘つて同様の問題について執筆しましたので、古い讀者の方は御存知の事と思ひます。前の時には出来るだけ廣く色々な問題に觸れ廣く淺くと言ふ傾向をとりましたので、今はそれを補ふ意味で寧ろ深いが深く子供の心を掘下げてみたいと思ひます。従つて兒童心理學概論としては取残される問題や項目が出来ると思ひますが、それは前回のものとか、他の兒童心理學書を見ていたとき度い。今回の講義は兒童心理學の入門と言ふより一段高い程度のものにしたいと思ひます。

若し人の性質や業績が凡て遺傳によつて決定されるものさしたら教育者の努力は無になり、生れて來た子供の教育に努めるよりも、生れる前の配慮即ち良質の子孫のみ生れ、惡質のものは生れない様な優生的處置さへ三つてければよい事になる。併し實際は人の性質や其人がやり遂げる業績は遺傳や素質のみによるものでなく教育的感化力も大である。又假に遺傳的素質的に劣つた低能等や不良少年があつたとしても教育者はそれを運命と諦めて放置しない

### 環境

遺傳と環境の問題、即ち人間の身心の生活に、遺傳と環境どちらの方が大きな影響を與へるかこの問題は學問的に

てよい譯ではなく、少しでも生活能力が増す様に、少しでも改善する様に最大の努力をしなければならない。

かく教育者としては、遺傳よりも環境を重視する可きである。遺傳的素質は教育の参考にするに留む可きである。自分に委ねられた子供が優秀者か劣等者かをはつきり知つて居る事は必要である。併し優秀者だから將來に大きな期待をかけて教育に張切つたり、劣等者だから失望して教育的努力を投げてしまつてはいけない。如何なる素質の者でも能力相應に仕事をして國家に奉公し、自分でも幸福な生活が送れる様に指導してやらねばならない。

故に茲では教育的感化影響に就いて考へてゆき度いと思ふが、教師の教育と言ふ狭い教育ではなく、廣い環境の感化力について考へてみたい。即ち家庭的環境とか農村都市等の自然社會環境について説くことにしよう。

### 親と子の問題

先づ家庭的環境の中でも最も大きな影響を持つて居る親の子供に對する影響、親子關係から考へる。

實父母が居なかつたり片親の場合は子供に大きな影響を與へると言はれてゐる。勿論繼父母や、片親や、養子等の場合には夫々深刻な問題が發生する。併し人々は兩親健在の場合にも問題が澤山ある事を忘れ勝ちである。故に茲では先づ兩親揃つて居る場合の問題を考へ次に片親とか繼母

の問題を考へよう。

#### I. 兩親が揃つて居ても起る問題

##### A. 濡愛

兩親が健在であり而も子供に愛を注いで居れば子供の精神は健全に育つゝ孝へられて居る。併し廣く社會を見渡して兩親が子供を非常に愛し乍ら子供が親から離反したり、或は何時までも子供つぱくて如何にも弱々しい獨立性の無い子供を持つて困つて居る家庭も澤山ある。子供を正しく愛する事は案外に六ヶ敷い事である。盲目的な愛情、溺愛に心しなければならない。愛情を持たない親と言ふものは考へられない。寶子であるならば如何に不出来な子供に對しても、否不良ならば却つて益々親の強い愛情が沸いて来る。従つて親に向つて子供を愛せよと説教するのは凡そ無意味な事である。寧ろ子供を盲目的に愛するな、溺愛するなと忠告する可きである。斯る警告は實は米國の精神衛生學者達から發せられてゐるのも不思議な事である。子供を愛する者は我邦の美風であり、外國では子供を早くから放任し、自由にさせて居るこ考へられて居るが、此個人主義の本家である米國に子供を溺愛して子供をスボイルし、駄目にしまふ例が澤山あるのである。従つて日本の親達は一層子供への溺愛をつゝしみ、賢母の譽をかち得なければならない。

家庭が子供に對して持つ機能は第一は保護であり、第二は子供の成長完成である。子供を溺愛する場合は第一の保護は完全以上に行はれるが、第二の成長、完成が妨げられる。何時までも親に依頼した非獨立的な子供となり、社會人として必要な諸性質や性能が形成されなくなる。親の愛は常に盲目的な庇護ではなく、自律、獨立性を損はない様に高處から指導しなければならない。何もかも親が手助けしてやる子供は何時までも親に頼つてくる。幼兒教育の第一の原理は自立の習慣を作る事であると言はれて居る。自分で食事をし、着物を着、一人で寝付き、一人で用便の始末をする様に躊躇する事が幼兒前期の教育原理である。少しく大きくなれば一人で幼稚園に行き、親が付いて居なくとも友達と遊ぶ事が出來、國民學校に入れば一人で勉強をし、青年期になれば自分の判断で行爲し、親から離れても無暗にホーム・シック等に悩む事なく勉強出来、社會に出ては早く經濟的に獨立し、結婚してからは何時までも賣家や里の親に頼らない者となるべし。斯る自立をさせる爲には親は無用な手助けを止めねばならない。子供が稚い程、或は子供が虛弱であつたり、精神的に遅れを有する子親は一層いそほしむで家の子供はまだ赤坊だから言つて何でも面倒を見、手助けしてしまふ。其爲に弱い子供程益々自立が困難になる。日本に昔からの諺に「可愛い

子には旅させよ」とあるが、親の膝下から離して、自分一人で自分の處置をさせる事は絶対に必要な事である。ホリングウォースは之に心理的離乳と言ふ巧い言葉を用ひて居る。乳兒は自分の成長の爲には一定の時が來れば離乳しなければいけない。何時までも母乳を哺つて居るミ栄養不良になる。同様に何時までも親に頼つて居るミ獨立した社會人になれない。適當な時期に心理的に離乳しなければならない。此時期は青年期ではあるが、其準備は既に幼兒期から徐々に自立の習慣を通してなされて居なければならない。

次に此自立を妨げる親の溺愛的態度は如何にして發生するのであらうか。之に對してセイルス (Sayles) 女史は思ひ切つた事を言つて居る、即ち溺愛する説の大部分は其の夫婦生活に缺陷がある。自分の接した「問題の親」の原因は結婚の失望以外のものはなかつたと言つて居る。妻の方から言へば夫の愛情に失望したために夫の代りに子供に凡ての愛情と希望をかけ其結果目的愛情に落入つて居る。故に子供を矢鱈に愛るのは美しい愛情の發露の様ではあるが、其裏には愛情の危機が潛んで居るから注意しなければならないと警告して居る。破女のあげてをる例を示さう。

満四歳の子供の母、絶えず子供の世話をやき食事、着衣、入浴に際し何から何まで母親が手を貸すので自分一人では

何も出来ない。又子供の面前で子供をほめたり、子供が喧嘩すれば直ぐ加勢に行く始末。此母親は其夫に不満を懷いて居り、夫は夜遊びしたり賭博に耽つて困るこゝぼして居る。又此妻は自分の里の母親にひき頼り、里の近くに住居して居り、夫の家よりも自分の里の方が優れてゐる事を兎角鼻にかけて居り、「子供が巧くゆかないのは全く夫のせいですよ」と言つて居る。斯る夫への失望から子への溺愛に入り立つたのである。

十七貫もある息の母。萬事母に頼つて居り、學校のキャンプに行つてもホーム・シックの爲に途中から逃出して来る様な息であるが、此親の結婚生活を調べてみると愛による結婚ではなく、妻には以前に愛人があつたが、他の女を結婚してしまつたのでやむなく今の夫と結婚した。併しその夫が教育も智能も自分より劣つてをるので不満で、ひたすら息に自分の心の慰を感じて居る。

斯る夫婦生活の不満は妻の例にのみある譯ではない。或教養ある實業家の例であるが、心から愛してゐた愛人には宗教關係から結婚する事が出来なかつたので左程愛しても居なかつた今の妻と結婚した。妻はひたすら夫に頼り、夫を愛せんとしたが、夫の愛は兩者の間に生れた娘の方に集中してゐる。其爲に妻は娘に對して激しい嫉妬すら感じて居る。次に男の子が生れたが當然の結果として妻はこの息

に愛を集中し、父が娘を愛すれば自分は負けずに息を愛し、兩者が競合する様な形となつた。斯る状態で十三年間経過して居る爲に此娘は完全にスポイルされた手に負へない子供になつてしまつた。

B 過度な期待 子供が學校で良い成績をこらぬ時には親を失望させるが、此失望が又子供に大きな影響を與へる。此場合に二つの型がある。一つは親が有能で社會的地位もある場合である。「斯んなに出來ない子供は私の家族にも親類にも居りません」と訴へる紳士がよくある。特に兄弟の中一方は親を満足させる様なよい成績を示すが他の方が親の期待するだけの成績を示さない場合に悲劇が起る。

或成功した實業家の例ではあるが、彼は大學も出てをり名譽職にもついてゐる人であり、妻も立派な教養ある女である。處が其息が中學を落第したばかりに非常に不名譽に思ひ、今にも一家の中に大きな不幸が臨む様に考へて心配し、子供に愛想をつかして努めて子供を家から遠去け様にして、學校を止めて實業に就かさうとして居た。

此息は無論優秀ではないが、家門の恥として冷遇する程の者でないのに親の誇りの爲に犠牲にならうとして居る。斯る親の態度は子供に大きな失望、劣等感を起す事になる。次は大學を出た賢い母親の例。娘の成績が悪いと言ふのでひきく叱り、自分の學校時代の成績をあげて訓戒した。

此娘は元來素質は悪くなく、智能検査をする其結果は寧ろ優秀でさへある。それなのに母の叱責の爲に却つて成績が上らず、特に母が學生時代によく出來た自慢した學科を嫌つて勉強しない。從つて又學校生活も面白くなくなり、ふさぎ勝で、死んでしまほうか等と言ふので母親が心配して相談所に訪ねて來た次第である。

斯の様に子供自身に責任があると言ふよりも、親の考方が餘りに高過ぎる爲に子供を不幸にする事もある。

過度の期待の第二の型は親自身が不遇であつてひたすら子供に期待をかけて居る場合で、此方が一層深刻である。幼兒から農園で働かされて教育を受けなかつた父親、此父親は毎日勤勉に仕事をして居るが一向にうだつが上らず下積の生活をして不遇をかこつて居るが、之は自分が教育が無いばかりに斯くなつたのだと思ひ込んで居る。だから

せめて息にだけは充分教育してやうと張切つて居る。息は小學校の頃はさうかこうかの成績を示して居たが、中學校に入つてから成績がかんばしくない。もう學校に行くのは厭ださ父親に言つた。處が父親はひざく叱り鞭撻した。子供は仕方なしに學校に行くが學年末には遂に落第になつた。併し父の怒を怖れて成績をこまかして報告したりした。併し非常に氣になるので、若し自分が學業を續けないならばお父さんはさうなさる心算か尋ねてみた、處が父は怒

つて、そんな時には追出してしまふと言つた。其爲に子供は自分の落第を正直につげる事も出来ず、思ひ餘つて遂に家出をしてしまつた。

C 所謂教育的態度 教育のある親で、一家の見識を持ち、自分の理想に従つて子供を躾け教育しようとする親から案外に困つた子供が出て来る事がある。

或嚴格な宗教的な家庭に育つた母親、彼女は、自分が育てられた通りに自分の子供を育て上げ様一生懸命である。自分達の子供の頃は斯んな遊びはしなかつた、映畫は見なかつた、間食はしなかつたと嚴しかつた想ひ出を持つて居り、又育児の本等も色々讀んで子供を厳しく躾けた、併し子供は十三の頃になると嘘をついたり、金を持出したり、學校を怠けたり、母が叱るを逆つたりして始末がつかなくなつた。

所謂教育的な態度、嚴格一點張の態度、子に適當な自由を許し、廣い立場から眺め、温い愛情が躾の中にじん定居ない様な親の態度も又困つた問題である。

以上の溺愛とか子供への期待とか教育性は皆それ自體としては悪いものではなく親の子供に對する本能的愛情の發露でもある。然し此の善意に基付いた愛情なるが故に自分の態度を反省する事が少く、誤った態度を續けて遂に子供を誤まらしてしまふのである。

## 月刊「幼兒の母」に就て

幼稚園の家庭教育指導のはたらきの一助にも、昨年一月、月刊「幼兒の母」を始めてから、もう一年になります。

號甚だ不出来ですが、それでも廣く各地幼稚園の御賛同を得て、月々、保護者へ配つて下さる方が多くなりました。

あんな小さいものですが、従つて内容も簡単至極のものですが、毎月一萬數千のお母さんに讀んでゐて貰へるこ思ふ

こ、大によろこんでます。ほんの四頁といふのも、忙しいお母さんの立読みにもいふ、初めからの計畫で、手にされる方は皆、讀んで下さること、これが何よりなのです。

就ては、從來の方々は勿論おつゞけ願ひますし、新らしい方々にもお願ひいたします。尙ほ、今までは毎月「幼兒教育」で御覽の上の註文を本體に願つてゐましたが、もう

大體お分り下さいましたこと、思ひますし、月々の御申込みは、皆さんの方にも御手數の多いことですから、半年分

なり一年分なりまごめて御註文下さるやう願ひます。當方でも印刷部數の豫めきまつてゐるこ思が、時節柄必要になりましたのです。それで新らしい幼兒の入園から新たに御配布の方も多いこ思ひますから、四月を始めとして、四五、六、七、三四ヶ月を一期、九、十、十一、十二、三四ヶ月を第二期、一、二、三三四ヶ月を第三期としてまごめ

た方が御便利かこ思ひます。一年拂は十一ヶ月分。

### 申込規程

一、御註文は十部を一單位として、實費を左の通り申受けます。

○十部 金貳拾錢(一部金貳錢)

○送料 十部まで三錢 二十以上送料不要  
○十部以下の端數はおここはりします。

一、御註文の節は部數ご何ヶ月分ごいふこと、御送り致す宛名を特にはつきりお書き記し下さい。

二、右御註文のお申込みご同時に必ず前金でお拂込み下さい。本會の振替口座(東京一七二六六番)をお用ひ

下さるのが御便利です。

一、お申込みお拂ひ込みは、東京市小石川區大塚町東京

女子高等師範學校附屬幼稚園内、日本幼稚園協會死。

(イ) 幼稚園が保護者に無料で配布される場合、(ロ)實費を保護者銘々の負擔となる場合、(ハ)幼稚園内の保護者會或は母の會等が費用の負擔をなさる場合等、その他いろ／＼の仕組があらうこ思ひます。

充分御利用下さい。

# 大東亞戰爭必勝完遂

## 戰時家庭

昭和十七年  
一月



今や日本の家庭は戦時家庭であります。戦時家庭とは、家を擧げて國家の戦争に参加してゐるといふことです。家を擧げて國家の戦争に應召してゐるといふのも同じです。すなはち、我が家でなくなつて、國の家庭になり切つてゐるのです。

一軒々々としては、まだ一人の家族も應召してゐない家もあります。しかし、その生活の心は、應召家庭と同一でなければなりません。總動員とは國民全體が動員せられてゐることですが、それは日本のお家庭全體が動員せられてゐることに外なりません。その意味で、今の日本の家庭も、一家々々ではなく、皇國のお家庭として一つになつてゐるのです。

それは常にそうでなければならぬことですが、今までには多少のゆるみを許されてゐたかも知れません。それが、この一大時局下に、一分のすきまもなく、國の家庭になり切つてゐるのであります。子どもその中に生活し、その中で育てられてゐるのであります。

なんといふ緊張でせう。なんといふ眞實でせう。なんといふ眞實でせう。なんといふ、ほんとうに日本の家庭らしい姿なのでせう。ほんとうに皇國の家庭そのものなのでせう。これが戦時家庭です。子どものほんとうの生長の爲に、なんといふ有り難いことでせう。

○お正月おめでたうございます。お子さんが健かに御加給何よりのことです。今年も亦、一層御健康に、一段と幼稚園をおたのしみになりますように。

○この大時局下に、こうして、お子さん達の元氣な笑顔を見、笑ひ聲を聞くことは出來るのは、なんといふ有り難いことでせう。勿體ないと思ふ位です。

○われ〜の心は國の大事を思ふて一

ぱいです。しかし、幼稚園では、お子さん方と、平和の時と同じやうな、なごやかさで遊び、唱ひ、踊つてゐます。これが大切なお子さんを託されてゐる、私達の貴い役目ですから。

○私達は、お子さんを守つてゐます。お子さんの心を守つてゐます。國中が繁劇に、家中が多忙に、親御さん方も、専らお子さんにかかりきつてあられないのであります。こそ、私達はお子さんを守りつゝけてゐます。

幼稚園から

# 我子に國民感情の涵養

——日本國民たることの喜び——

## 倉 橋 熊 三

□時局はいよいよ重大な時期に進み入りました。この戦争が如何に國家の大事件であり、又、如何に長期に亘ることであるべきかは、お互としてしつかり覺悟の出来てゐることであります。しかし、

私達一代の決意だけでは足りません。その後に来る大きな國家的計畫のために、どうしても、次代の國民をしつかり養つて置かなければなりません。これは、い

つの世でも大切なことです。今日特別に強く感じられることです。

□それには、今の子どもを、どういふ風に教育してゆくことが、必須なのです。いろくと大事なことがあります。ほかの中で一番大切なことは、眞の日本國民に仕上げることです。ほかのことが、どんなによく發

達させられてるても、此點がしつかり出来てゐなければ、全く無意味です。

□國民學校が、國民の基礎的鍛成といふことを本旨としてゐることは、御承知の通りです。國民學校で施されてゐる、あのいろ／＼さまざまの教育が、みんな國民に仕上げるといふことに、ひたすらに向かはれてゐるのです。あらゆる教科を通して、それを落ちるところなく完成してゆかうとしてゐるのです。

□ところで、國民としての性格の第一は國民感情をもつことです。自分は日本國民だといふ心の底から、又、心に充ち溢れてゐる心もちです。この心もちが養はれるためには、日本の國を知り、國民として自覺し、國民の義務を明らかにすることが、必要です。國民學校の國民科

# 子供向きお菜

厚生科學研究所 國民榮養部 佐々木理喜子

世界一に強い海軍の國、海の國に生まれて、將來此の輝かしい榮光を受けつぐ御子様達は、新年から一層丈夫な體を作りませう。材料を節約し、榮養に缺けず簡単に出来る御馳走を工夫しませう。今月は「メザシ」を用ひますが、新鮮な生魚の入手出来ぬ時には、干物で結構で、榮養上からは、乾した爲に水分が少い程度の差異で、「メザシ」は一番大衆的なものと思ひます。骨も一緒に食べませう。

## 【1】メザシの油揚巻き

材料 メザシ四〇瓦(二匹) 油揚一〇瓦(約 $\frac{1}{3}$ ) 人參一五瓦 牛蒡一〇瓦 以上で蛋白質八・七瓦 热量九七カロリー作り方 メザシは固く乾燥したのは、水に三十分位浸けて軟げる。頭はどる。人参、牛蒡は一寸位の拍子木に切り、薄味をつけろ。油揚は三方を少し切り廣い一枚にはがし三分する。海苔巻の様にメザ

は特にそのため力強い教育をしてゐるのです。しかし、こういふ知識や自覺は、幼稚園の子どもには、まだ充分に持たせ難いことです。日本の歴史を教へることも、充分にはむづかしいことです。東亞の日本、世界の日本の意義を理解させるこども、なかなかむづかしいことです。そこで、もつと直接な国民感情を、幼児にも持てるもので與へなければなりません。心もちの教育です。

□その根本の心もちは、日本國民であることの喜びです。こうして日本國民であることを、嬉しいと思ふ心です。これは理屈でもなく、自覺そのものであります。勿論、理解からその心もちを生み出し、自覺でその心を湧き上がらせることもあります。しかし、心もちは心も

どういふ方向へ向けてゆくか、どういふ喜び方をさせるか。それを指導すればいいのですし、指導は、傍のものが、日本國民たることの喜びを示しさへすれば出来ることです。つまり、子ども傍に始終お母さんが、いつも此の喜びに充ちてゐて、事々に、時に觸れ折りに觸れてそれをあらはせば、おのづと子どもの心を、喜びをその方向に向けてゆくことが出来るのです。

□「これは神様のお蔭よ」とは、誰もよくいふ言葉です。あれと同じに「之れは陛下のお蔭である」「これも日本國民たるお蔭である」といふ風に、心から出る言葉がほしいのです。日本人たるこの喜びを感じしめよといふことは、國民學校の國民科の國史でも主にしてゐることです。そして、幼稚園時代から養つて置かなければならぬことです。家庭で

シ、人參、牛蒡を巻き込み、揚子で止めロールキヤベツの様に煮込み、砂糖、醤油で味付ける。鹽辛いメザシは鹽抜きをしてから用ひる。骨はそのまま食べる。

### 【2】メザシの包蒸

材料 メザシ五〇瓦 人參一五瓦 さつまいも二五瓦 以上で蛋白質八・一瓦熱量一〇五カロリー

作り方 メザシは一時間位水に浸して軟げ、頭を取り身を開き、中骨も取る。人参、甘藷を一寸位の拍子木に切り薄味をつけ、メザシの中に揃へてのせ、頭の方からくる／＼巻き、尾を上にして揚子で留め、皿に並べて御飯蒸しで蒸す。食べる時は醤油を少々かける。

### 【3】かき揚げ

材料 メザシ 五〇瓦 人參一五瓦 もやし 二〇瓦 油四五瓦 以上で 蛋白質八・四瓦熱量一六カロリー

作り方 メザシを前のように軟げ、三分位にブツ切り、他の材料と共に普通のかき揚を作る。

# 一月の衛生

醫學博士 齋藤文雄

□倉橋先生の御命令で暫らく皆さんの

お仲間入りをさせて戴き、職域奉公ない  
たす事になりました。私は醫師ですから  
その方面から御協力申し上げて、皆さん  
と一緒に、強い明るい日本の子供を作つ  
てゆき度いと存じます。

□冬籠りまた寄り添はんこの柱 芭蕉  
冬の陽を沁々と浴びてゐる俳聖の姿が  
眼に見える様です。然しこれは老人であ  
ればこそ柱が頼りになるのです。子供は  
そんな事では満足しません。寧ろ思ひ切  
つて日の當る外に出て遊びます。それで  
いゝのです。冬こそは日が短かい時、日  
の光りの弱い時ですから、出来るだけ子  
供は日當を利用いたしませう。どんどん  
外で澄み切つた綺麗な空氣を吸つて遊ば  
せて下さい。

□向ふから「マスク」をかけた坊やが來  
ます。感心にきちんと鼻と口が隠れてゐ  
ます。然し待てよ。霜はおりてゐるが今

朝は風も無いぞ。埃りも立つてゐないぞ。

坊やは別に風邪をひいてる様な様子も  
無いやうだ。まさか坊やのお母さんは、  
空氣が冷たいからと云ふので「マスク」を  
掛けりやつた譯では無いだらうと思ふ  
が。人混みの中、埃の多い所、そこでこ  
そ「マスク」は必要だがこんな澄み切つた  
朝の空氣をわざわざ「マスク」で閉め出し  
てしまふ様な無駄をするお母さんは居な  
い筈だが。

□お家の都合でお子さんの幼稚園を休  
ませてはいけませんね。ことに冬は身體  
の鍛練に絶好の時です。寒からうが雪が  
降らうが何のその、幼稚園を休みたがる  
のはお母さんで、お子さんでは無い事の方  
が多い様です。お天氣の悪い日にそ鍛へ  
る日です。身體も丈夫になります。精神  
も堅固になります。不屈不撓の精神と云  
ふのはこう云ふ所に芽生へる事を忘れない  
で戴き度いものです。

□夜お床に入る時はどんな寒い日でも  
眞裸體に着物を脱がせて寝巻きと着替へ  
ます。たとひ一日でも「シャツ」を着たな  
りで寝せたりしてはいけません。風邪ひ  
きの豫防に大切な事です。朝起きたら直  
ぐに又着替へます。この時も餘り暖めた  
りして着せるのはよくない事です。

□お正月のお休みで喰へ過ぎはいたし

ませんか。今年は物が不足で餘り喰べず  
ぎてお腹を毀した様なお子さんは少ない  
でせう。物が不足と云ふ事は國全體がそ  
うなのですから皆な辛棒しなければなり

ません。然し大人と違ひ育ち盛りの子供  
では、分量は兎に角、喰べ物の種類が偏  
しては困ります。丈夫に育たないからで  
す。卵や牛肉が一週間も二週間も喰べさ  
せられない。そうしますと不足しますの  
は何よりも先づ「ビタミン」のAやDで  
す。これは一番弱った事です。ですから、  
この冬は何處のお家でも肝油を備へてお  
き度いものです。油の儘の肝油でも良し、  
球になつた肝油でもいいですが、兎に角、  
これでどんな食物の窮乏時代が來ても、  
さうめんの食事がいつまでも出来ます。  
鳥眼や、蒼白い顔にならない様にしてゆ  
き度いものです。

# 日本幼稚園協会編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校校長 下村壽一  
主幹 附屬幼稚園主任 倉橋惣三  
副幹事 関係アルモノ又ハ幼稚園ニ關スル圖書刊行  
ノモトス

## 日本幼稚園協会規則

會ノ開催

一、雜誌發行(毎月一回)

一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行  
一、保母就職及招聘ニ關スル仲介  
一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メ  
タル事件

第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖  
ルヲ以テ目的トス  
第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス  
第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園  
ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナ  
ルモノトス

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾

五錢ヲ離出スヘン、會員ハ無料ニテ本  
會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業  
ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ク

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事  
業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒ  
テ客員トナスコトアルヘシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本  
會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、  
モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアル  
ヘシ

第七條 本會ハ毎年一同總會ヲ開ク  
但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得  
第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ  
一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査  
一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習

評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ

會長ノ諮詢ニ應ス

ヲ掌理ス

會長ノ指揮ヲ受ケ會

第十條 會長 一名 會務ヲ總理ス

會長ヲ補佐シテ會務

ヲ掌理ス

會長ノ指揮ヲ置ク

ノトス

第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ月年

ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス

第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ

設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ

ノ期ニ以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變

更スルコトヲ得ス

## 定文規則注

一、本誌御注文の方は凡て前金(郵稅共)で願ひます。  
一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越な  
す。送金の節には第何卷第何月號より第何月號迄  
と明記せられだし。  
一、御送金の場合はなるべく振替封筒で振替口座  
東京一七二六番日本幼稚園協會宛に願ひます。  
一、本誌御注文の方は凡て前金(郵稅共)で願ひます。  
一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越な  
す。送金の節には第何卷第何月號より第何月號迄  
と明記せられだし。  
一、御送金の場合はなるべく振替封筒で振替口座  
東京一七二六番日本幼稚園協會宛に願ひます。  
一、本誌御注文の方は凡て前金(郵稅共)で願ひます。  
一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越な  
す。送金の節には第何卷第何月號より第何月號迄  
と明記せられだし。  
一、御送金の場合はなるべく振替封筒で振替口座  
東京一七二六番日本幼稚園協會宛に願ひます。

## 不許複製轉載

印 刷 者 東京市小石川區大塚町三十五  
東京女子高等師範學校附屬幼稚園內  
印 刷 所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
常 常 舍 會社杏林舍

## 發行所 日本幼稚園協會

振替口座東京一七二六番

## 價定告

一ヶ月分	冊送料	參拾五錢	金貳拾圓	半ヶ年分	冊送料	一等面	二等面	特等面
六ヶ年分	金四圓貳拾錢	共	金貳拾圓	一等面	一圓	一頁	一頁	一頁以下
一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓
冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊

(外國行郵稅是一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)  
昭和十六年十二月二十八日印刷納本

昭和十七年一月一日發行

第四十二卷 第一號

幼兒の教育 第一回

東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

印 刷 者 柴山則常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地

印 刷 所 會社杏林舍

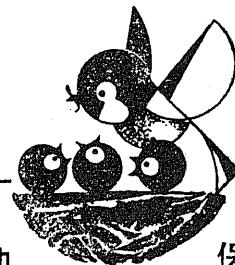
昭和四年五月十五日第三種郵便物認可  
毎月同一日發行

昭和十六年十二月二十八日印刷納本  
競記憶感覺争戯・動作篇

停 定價 參拾五錢

# 日書行發館育保本

書導指たき生るけ於に育教兒幼  
書良つ立役に直に上育保の際實



## 保育叢書

倉橋惣三先生監修

四六判各冊定價總金一圓綴  
送料六

- 第一編 幼児のための人形芝居脚本
- 第二編 自然物おもちゃ
- 第三編 幼稚園の手技製作
- 第四編 實驗保育學

菊池ふじの先生共著  
徳久孝子先生著  
膳眞規子先生著  
及川ふみ先生著  
和田實先生著

## 幼兒性行評定尺度

淡路圓治郎先生著

定價金一  
送料六  
錢圓

## 幼兒發達検査

淡路圓治郎先生著  
牛島義友先生共著  
吉田虎彦先生共著

定價金一  
送料六  
錢圓

## 農繁託兒所の經營

高市慶雄先生著  
倉橋惣三先生共著  
辯田工先生共著

定價金廿  
送料三  
錢圓

## 幼稚園律動遊戲曲譜集

大阪市保育會編

定價金二  
送料全  
錢圓

## 幼稚園律動遊戲曲譜集

構成々分を主としたる幼稚園遊戲の保育要諦

第一卷 動作集 (金三圓) · 第二卷 曲譜集 (金二圓)

大阪市幼稚園共同研究會第六區編

## 子供の舞踊

石井漠先生著  
鈴木重達先生著

定價金一  
送料六  
錢圓

## シルエットの作り方

送料金一  
錢圓

# 館育保本社會式株

番二六六三(33)話電・二町保神・田神・京東・社本  
番七二八三(24)話電・五町後備・區東・阪大 所張出